# 電話システムの監視


- 電話システムの監視の概要，1 ページ
- Cisco IP Phone のステータス，1 ページ
- Cisco IP Phone Web ページ，15 ページ


## 電話システムの監視の概要

電話機および電話機 Web ページの電話機ステータス メニューを使用すると、電話機に関するさまざまな情報を表示できます。この情報には次のものが含まれます。

- デバイス情報
- ネットワークのセットアップ情報
- ネットワーク統計
- デバイス ログ
- ストリームの統計

この章では、電話機の Web ページから取得可能な情報について説明します。この情報は、電話機の操作のリモート モニタやトラブルシューティングに役立てることができます。

Cisco IP Phone のトラブルシューティングの詳細については、トラブルシューティングを参照してください。

## Cisco IP Phone のステータス

ここでは、Cisco IP Phone のモデル情報、ステータス メッセージ、およびネットワーク統計を表示する方法について説明します。

- [モデル情報（Model Information）]：電話機のハードウェアとソフトウェアに関する情報を表示します。

- [ステータス（Status）] メニュー：ステータス メッセージ、ネットワーク統計、および現在のコールに関する統計を表示する画面にアクセスできます。

これらの画面に表示される情報は、電話機の操作のモニタやトラブルシューティングに役立てることができます。

また、これらの情報の大半およびその他の関連情報は、電話機の Web ページからリモートで取得することもできます。

Cisco IP Phone 8800 シリーズのトラブルシューティングの詳細については、トラブルシューティングを参照してください。

# [電話の情報（Phone Information）] ウィンドウの表示

**手順**

**ステップ 1** [アプリケーション（Applications）] を押します。

**ステップ 2** [電話の情報（Phone Information）] を選択します
ユーザがセキュアまたは認証済みのサーバに接続している場合、サーバ オプションの右側にある [電話の情報（Phone Information）] 画面に対応するアイコン（ロックまたは認証マーク）が表示されます。ユーザがセキュアまたは認証済みのサーバに接続していない場合、アイコンは表示されません。

**ステップ 3** [モデル情報（Model Information）] 画面を終了するには、[戻る（Back）] を押します。

# [ステータス（Status）] メニューの表示

**手順**

**ステップ 1** [ステータス（Status）] メニューを表示するには、[アプリケーション（Applications）] を押します。

**ステップ 2** [管理者設定（Admin Settings）] > [ステータス（Status）] を選択します。

**ステップ 3** [ステータス（Status）] メニューを終了するには、[戻る（Back）] を押します。

# [ステータス メッセージ（Status Messages）] ウィンドウの表示

## 手順

**ステップ 1** [アプリケーション（Applications）] を押します。

**ステップ 2** [管理者設定（Admin Settings）] > [ステータス（Status）] > [ステータス メッセージ（Status Messages）] を選択します。

**ステップ 3** 現在のステータス メッセージを削除するには、[クリア（Clear）] を押します。

**ステップ 4** [ステータス メッセージ（Status Messages）] 画面を終了するには、[戻る（Back）] を押します。

## ステータス メッセージ フィールド

次の表に、電話機の [ステータス メッセージ（Status Messages）] 画面に表示されるステータス メッセージを示します。

**表 *1*：*Cisco IP Phone* のステータス メッセージ**

| メッセージ | 説明 | 考えられる状況と対処方法 |
|---|---|---|
| TFTP サイズエラー（TFTP Size Error） | 電話機のファイル システムに対して、設定ファイルのサイズが大きすぎます。 | 電話機の電源をオフ/オンにします。 |
| ROM チェックサム エラー（ROM Checksum Error） | ダウンロードしたソフトウェア ファイルが破損しています。 | 電話機のファームウェアの新しいコピーを入手し、それを TFTPPath ディレクトリに置きます。ファイルをこのディレクトリにコピーできるのは、TFTP サーバ ソフトウェアがシャットダウンされているときだけです。それ以外の場合にコピーすると、ファイルが破損する可能性があります。 |
| IP が重複しています（Duplicate IP） | 別のデバイスが、電話機に割り当てられた IP アドレスを使用中です。 | 電話機にスタティック IP アドレスが割り当てられている場合は、重複する IP アドレスを割り当てていないことを確認してください。<br>DHCP を使用している場合は、DHCP サーバの設定を確認してください。 |

| メッセージ | 説明 | 考えられる状況と対処方法 |
|---|---|---|
| ロケールの更新エラー（Error Updating Locale） | 1 つまたは複数のローカリゼーション ファイルが、TFTP パス ディレクトリで見つからなかったか、または無効でした。ロケールは変更されませんでした。 | サードパーティ コール制御システムから、次のファイルが[TFTPファイルの管理（TFTP File Management）] のサブディレクトリに存在することを確認してください。<br>• ネットワーク ロケールと同じ名前のサブディレクトリに存在するファイル：<br>◦ tones.xml<br>• ユーザ ロケールと同じ名前のサブディレクトリに存在するファイル：<br>◦ glyphs.xml<br>◦ dictionary.xml<br>◦ kate.xml |
| IP アドレス解放（DHCP Address Released） | 電話機は、IP アドレスを解放するように設定されます。 | 電話機は、電源をオフ/オンにするか、または DHCP アドレスをリセットするまで、アイドル状態のままです。 |
| IPv4 DHCP タイムアウト（IPv4 DHCP Timeout） | IPv4 DHCP サーバが応答しませんでした。 | ネットワークがビジーになっている：このエラーは、ネットワーク負荷が軽減されると、自動的に解決します。<br>IPv4 DHCP サーバと電話機との間にネットワーク接続がない：ネットワーク接続を確認してください。<br>IPv4 DHCP サーバがダウンしている：IPv4 DHCP サーバの設定を確認してください。<br>エラーが続く：スタティック IPv4 アドレスを割り当てることを検討してください。 |
| IPv4 DNS タイムアウト（IPv4 DNS Timeout） | IPv4 DNS サーバが応答しませんでした。 | ネットワークがビジーになっている：このエラーは、ネットワーク負荷が軽減されると、自動的に解決します。<br>IPv4 DNS サーバと電話機との間にネットワーク接続がない：ネットワーク接続を確認してください。<br>IPv4 DNS サーバがダウンしている：IPv4 DNS サーバの設定を確認してください。 |

| メッセージ | 説明 | 考えられる状況と対処方法 |
|---|---|---|
| DNS 不明 IPv4 ホスト（DNS unknown IPv4 Host） | IPv4 DNS が TFTP サーバの名前を解決できませんでした。 | ホスト名ではなく、IPv4 アドレスを使用することを検討してください。 |
| 拒否された HC のロード（Load Rejected HC） | ダウンロードされたアプリケーションには、電話機のハードウェアとの互換性がありません。 | この電話機でのハードウェア変更をサポートしていないバージョンのソフトウェアをインストールしようとすると発生します。 |
| デフォルト ルータがありません（No Default Router） | DHCP またはスタティック設定でデフォルトルータが指定されていませんでした。 | 電話機にスタティック IP アドレスが割り当てられている場合は、デフォルト ルータが設定されていることを確認してください。<br>DHCP を使用している場合は、DHCP サーバがデフォルト ルータを提供していません。DHCP サーバの設定を確認してください。 |
| IPv4 DNS サーバがありません（No IPv4 DNS Server） | 名前は指定されていましたが、DHCP またはスタティック IP 設定で IPv4 DNS サーバ アドレスが指定されていませんでした。 | 電話機にスタティック IP アドレスが割り当てられている場合は、IPv4 DNS サーバが設定されていることを確認してください。<br>DHCP を使用している場合は、DHCP サーバが IPv4 DNS サーバを提供していません。DHCP サーバの設定を確認してください。 |
| タイムアウト（Timed Out） | サプリカントが 802.1X トランザクションを実行しようとしましたが、オーセンティケータが存在しないためにタイムアウトになりました。 | 認証は一般的に、スイッチで 802.1x が設定されていない場合にタイムアウトします。 |
| バージョン エラー（Version Error） | 電話機のロードファイルの名前が不正です。 | 電話機のロード ファイルが正しい名前であることを確認してください。 |
| XmlDefault.cnf.xml（または電話機のデバイス名に対応した .cnf.xml） | 設定ファイルの名前。 | なし。このメッセージは、電話機の設定ファイル名を示します。 |

## [ネットワーク統計（Network Statistics）] ウィンドウの表示

[ネットワーク統計（Network Statistics）] 画面を表示するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** [アプリケーション（Applications）] を押します。

**ステップ 2** [管理者設定（Admin Settings）]>[ステータス（Status）]>[ネットワーク統計（Network Statistics）] を選択します。

**ステップ 3** [Rx Frames]、[Tx Frames]、および [Rx Broadcasts] の統計を 0 にリセットするには、[クリア（Clear）] を押します。

**ステップ 4** [ネットワーク統計（Network Statistics）] 画面を終了するには、[戻る（Back）] を押します。

## [ネットワーク統計（Network Statistics）] フィールド

次の表では、[ネットワーク統計（Network Statistics）] 画面の情報について説明します。

**表 *2* : *[ネットワーク統計（Network Statistics）]* フィールド**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| Tx フレーム（Tx Frames） | 電話機が送信したパケットの数。 |
| Tx Broadcasts | 電話機が送信したブロードキャスト パケットの数。 |
| Tx Unicast | 電話機が送信したユニキャスト パケットの総数。 |
| Rx フレーム（Rx Frames） | 電話機が受信したパケットの数。 |
| Rx Broadcasts | 電話機が受信したブロードキャスト パケットの数。 |
| Rx unicast | 電話機が受信したユニキャスト パケットの総数。 |
| CDP ネイバー デバイス ID（CDP Neighbor Device ID）：<br>• CDP ネイバー IP アドレス（CDP Neighbor IP Address）<br>• CDP ネイバー ポート（CDP Neighbor Port） | CDP プロトコルで検出された、このポートに接続されているデバイスの ID。 |

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| [リスタートの原因（Restart Cause）]：次のいずれかの値になります。<br>• ハードウェア リセット（Hardware Reset）（電源を投入したままのリセット）<br>• ソフトウェア リセット（Software Reset）（メモリ コントローラもあわせてリセット）<br>• ソフトウェア リセット（Software Reset）（メモリ コントローラはリセットしない）<br>• ウォッチドッグ リセット（Watchdog Reset）<br>• 不明 | 電話機が最後にリセットされた原因。 |
| ポート 1（Port 1） | PC ポートのリンクの状態と接続（たとえば、Auto 100 Mb Full-Duplex は、PC ポートがリンク アップ状態で、全二重の 100 Mbps 接続を自動ネゴシエーションしたことを意味します）。 |
| ポート 2（Port 2） | ネットワーク ポートのリンク状態と接続。 |

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| IPv4 | DHCP ステータスに関する情報。これには、次の状態があります。<br>• CDP BOUND<br>• CDP INIT<br>• DHCP BOUND<br>• DHCP DISABLED<br>• DHCP INIT<br>• DHCP INVALID<br>• DHCP REBINDING<br>• DHCP REBOOT<br>• DHCP RENEWING<br>• DHCP REQUESTING<br>• DHCP RESYNC<br>• DHCP UNRECOGNIZED<br>• DHCP WAITING COLDBOOT TIMEOUT<br>• SET DHCP COLDBOOT<br>• SET DHCP DISABLED<br>• DISABLED DUPLICATE IP<br>• SET DHCP FAST |

## [ワイヤレス統計（Wireless Statistics）] 画面の表示

この手順は、ワイヤレスの Cisco IP Phone 8861 のみに適用されます。

[ワイヤレス統計（Wireless Statistics）] 画面を表示するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** [アプリケーション（Applications）] を押します。

**ステップ 2** [管理者設定（Admin Settings）] > [ステータス（Status）] > [ワイヤレス統計（Wireless Statistics）] を選択します。

**ステップ 3** ワイヤレス統計を 0 にリセットするには、[クリア（Clear）] を押します。

**ステップ 4** [ワイヤレス統計（Wireless Statistics）] 画面を終了するには、[終了（Exit）] を押します。

## WLAN 統計情報

次の表に、電話機での WLAN 統計を示します。

**表 *3*：*Cisco Unified IP Phone* の *WLAN* 統計**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| Tx バイト（tx bytes） | 電話機が送信したバイト数。 |
| Rx バイト（rx bytes） | 電話機が受信したバイト数。 |
| Tx パケット（tx packets） | 電話機が送信したパケットの数。 |
| Rx パケット（rx packets） | 電話機が受信したパケットの数。 |
| Tx パケット ドロップ（tx packets dropped） | 送信中にドロップされたパケット数。 |
| Rx パケット ドロップ（rx packets dropped） | 受信中にドロップされたパケット数。 |
| Tx パケット エラー（tx packet errors） | 電話機が送信したエラー パケット数。 |
| Rx パケット エラー（rx packet errors） | 電話機が受信したエラー パケット数。 |
| Tx フレーム（Tx frames） | 正常に送信された MSDU の数。 |
| Tx マルチキャスト フレーム（tx multicast frames） | 正常に送信されたマルチキャスト MSDU の数。 |
| Tx リトライ（tx retry） | 1 つまたは複数の再送信後に正常に送信された MSDU の数。 |
| Tx マルチ リトライ（tx multi retry） | 1 つまたは複数の再送信後に正常に送信されたマルチキャスト MSDU の数。 |
| Tx 失敗（tx failure） | 送信の試行数が再試行の限度を超えたために、正常に送信されなかった MSDU の数。 |
| RTS 成功（rts success） | このカウンタは、RTS の応答として CTS を受信したときに増分されます。 |

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| RTS 失敗（rts failure） | このカウンタは、RTS の応答としての CTS を受信しなかったときに増分されます。 |
| ACK 失敗（ack failure） | このカウンタは、予期されている場合に ACK を受信しなかったときに増分されます。 |
| Rx 重複フレーム（rx duplicate frames） | [シーケンス制御（Sequence Control）] フィールドで重複が示されているフレームを受信した回数。 |
| Rx フラグメント パケット（rx fragmented packets） | タイプがデータまたは管理の MPDU を正常に受信した数。 |
| ローミング カウント（roaming count） | 正常にローミングされた数。 |

## [コール統計（Call Statistics）] ウィンドウの表示

電話機の [コールの統計（Call Statistics）] 画面にアクセスすると、最新のコールのカウンタ、統計、および音声品質メトリックを表示できます。

（注） また Web ブラウザを使用して [ストリームの統計（Streaming Statistics）] Web ページにアクセスすることにより、リモートでコール統計情報を表示することもできます。この Web ページには、電話機では表示できない追加の RTCP 統計が含まれています。

単一のコールが複数の音声ストリームを使用する場合がありますが、最後の音声ストリームに関するデータだけがキャプチャされます。音声ストリームは、2 つのエンドポイント間のパケット ストリームです。一方のエンドポイントが保留になると、コールが引き続き接続されている場合でも、音声ストリームは停止します。コールが再開されると、新しい音声パケット ストリームが開始され、以前のコール データは新しいコール データによって上書きされます。

[コール統計（Call Statistics）] 画面に音声ストリームに関する最新情報を表示するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** [アプリケーション（Applications）] を押します。

**ステップ 2** [管理者設定（Admin Settings）] > [ステータス（Status）] > [コール統計（Call Statistics）] を選択します。

**ステップ 3** [コール統計（Call Statistics）] 画面を終了するには、[戻る（Back）] を押します。

## コール統計のフィールド

次の表に、[コール統計（Call Statistics）] 画面の項目を示します。

**表 4**：***Cisco IP Phone* の [コール統計（*Call Statistics*）] の項目**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 受信コーデック（Receiver Codec） | 受信された音声ストリームのタイプ（RTP ストリーミング オーディオの送信元コーデック）。G.729、G.722、G.711 mu-law、G.711 A-law、iLBC。 |
| 送信コーデック（Sender Codec） | 送信された音声ストリームのタイプ（RTP ストリーミング オーディオの送信元コーデック）。G.729、G.722、G.711 mu-law、G.711 A-law、iLBC。 |
| 受信サイズ（Receiver Size） | 受信中の音声ストリーム（RTP ストリーミング オーディオ）の音声パケット サイズ（ミリ秒）。 |
| 送信サイズ（Sender Size） | 送信中の音声ストリームの音声パケット サイズ（ミリ秒）。 |
| 受信パケット（Rcvr Packets） | 音声ストリームが開始されてから受信された RTP 音声パケットの数。<br>（注） コールが保留されていた可能性があるため、この数値は、必ずしもコールが開始されてから受信された RTP 音声パケットの数と同じであるとは限りません。 |
| 送信パケット（Sender Packets） | 音声ストリームが開始されてから送信された RTP 音声パケットの数。<br>（注） コールが保留されていた可能性があるため、この数値は、必ずしもコールが開始されてから送信された RTP 音声パケットの数と同じであるとは限りません。 |
| 平均ジッター（Avg Jitter） | 受信中の音声ストリームが開始されてから測定された、RTP パケット ジッターの推定平均値（パケットがネットワークを経由する際の動的な遅延）（ミリ秒単位）。 |
| 最大ジッター（Max Jitter） | 受信中の音声ストリームが開始されてから測定された最大ジッター（ミリ秒単位）。 |

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 受信破棄（Receiver Discarded） | 受信中の音声ストリームで廃棄された RTP パケットの数（不良パケット、過度の遅延などによる）。<br>（注） シスコ ゲートウェイが生成したペイロード タイプ 19 のコンフォート ノイズ パケットはこのカウンタを増分するため、電話機はこれらのパケットを破棄します。 |
| 受信喪失パケット（Rcvr Lost Packets） | 失われた RTP パケット（転送中に喪失）。 |
| 音声品質メトリック（Voice Quality Metrics） | |
| 累積フレーム損失率（Cumulative Conceal Ratio） | 隠蔽フレームの総数を、音声ストリームの開始以降に受信された音声フレームの総数で割った値。 |
| 直近フレーム損失率（Interval Conceal Ratio） | アクティブな音声に先行する 3 秒間の間隔における、音声フレームに対する隠蔽フレームの比率。音声アクティビティ検出（VAD）を使用する場合は、アクティブな音声を 3 秒集めるために、もっと長い間隔が必要になる可能性があります。 |
| 最大フレーム損失率（Max Conceal Ratio） | 音声ストリームの開始以降、最も高い間隔の損失率。 |
| フレーム損失発生秒数（Conceal Seconds） | 音声ストリームの開始以降、隠蔽イベント（フレーム損失）があった秒数（[深刻なフレーム損失発生秒数（Severely Conceal Secs）] の値を含む）。 |
| 深刻なフレーム損失発生秒数（Severely Conceal Seconds） | 音声ストリームの開始以降、5 % を超える隠蔽イベント（フレーム損失）があった秒数。 |
| 遅延（Latency） | ネットワーク遅延の推定値（ミリ秒単位）。ラウンドトリップ遅延の実行中の平均値を表します。これは、RTCP 受信レポート ブロックの受信時に測定されます。 |

## [現在のアクセス ポイント（Current Access Point）] ウィンドウの表示

[現在のアクセスポイント（Current Access Point）] 画面には、Cisco IP Phone 8861 がワイヤレス通信に使用するアクセス ポイントに関する統計情報が表示されます。

### 手順

**ステップ 1** [アプリケーション（Applications）] を押します。

**ステップ 2** [管理者設定（Admin Settings）]>[ステータス（Status）]>[現在のアクセスポイント（Current Access Point）] を選択します。

**ステップ 3** [現在のアクセス ポイント（Current Access Point）] 画面を終了するには、[終了（Exit）] を押します。

## [現在のアクセスポイント（Current Access Point）] のフィールド

次の表に、[現在のアクセス ポイント（Current Access Point）] 画面のフィールドを示します。

**表 *5*：*[*現在のアクセス ポイント（*Current Access Point*）*]* の項目**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| AP 名（AP name） | CCX 準拠している場合は AP 名、それ以外は MAC アドレスが表示されます。 |
| MAC アドレス（MAC address） | AP の MAC アドレス。 |
| 頻度（Frequency） | この AP で測定された最新の周波数。 |
| 現在のチャネル（Current Channel） | この AP で測定された最新のチャネル。 |
| 前回の RSSI（Last RSSI） | この AP で測定された最新の RSSI。 |
| ビーコン間隔（Beacon Interval） | ビーコン間の時間単位の数。時間単位は 1.024 msec です。 |
| 機能（Capability） | このフィールドには、要求またはアドバタイズされたオプション機能を示すのに使用されるサブフィールド数が含まれます。 |
| 基本レート（Basic Rates） | AP が要求し、ステーションが動作に対応している必要がある AP のデータ レート。 |
| オプションレート（Optional Rates） | AP がサポートし、ステーションにとってオプションで動作する AP のデータ レート。 |

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| サポートされる VHT(rx)レート | AP から受け取った VHT 対応 RX MCS Set。 |
| サポートされる VHT(tx)レート | AP から受け取った VHT 対応 TX MCS Set。 |
| サポートされる HT MCS | AP から受け取った HT 対応 MCS Set。 |
| DTIM 期間（DTIM Period） | すべての nth ビーコンが DTIM 時間です。各 DTIM ビーコン後に、AP は、電力節約デバイスに対してキューに入っているブロードキャストパケットまたはマルチキャスト パケットを送信します。 |
| 国コード（Country code） | 2 桁の国番号。国情報要素（IE）がビーコン内に存在しない場合は表示されません。 |
| チャネル（Channels） | （国 IE で）サポートされているチャネルのリスト。 |
| 電力制限（Power Constraint） | 規制区域の制限から最大伝送パワーが減らされる電力量。 |
| 電力上限（Power Limit） | そのチャネルに許容される dBm での最大送信電力。 |
| チャネル使用率（Channel utilization） | AP によって検知されたメディアがビジーである、255 に正規化された時間の割合。物理または仮想キャリア検知（CS）メカニズムによって示されます。 |
| ステーション数（Station Count） | この AP に現在関連付けられている STA の総数。 |
| アドミッションキャパシティ（Admission Capacity） | 明示的なアドミッション コントロールを通じて使用可能なメディアの残り時間を指定する符号なし整数（32 マイクロ秒/秒の単位）。<br>値が 0 の場合、AP はこの情報要素をサポートせず、キャパシティはわかりません。 |
| WMM サポート済み（WMM Supported） | Wi-Fi マルチメディア エクステンションのサポート。 |
| UAPSD サポート済み（UAPSD Supported） | AP は Unscheduled Automatic Power Save Delivery をサポートします。WMM がサポートされている場合だけ使用可能です。この機能はワイヤレス IP Phone での通話時間と最大コール密度の達成にとって重要です。 |

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| プロキシ ARP（Proxy ARP） | CCX 準拠 AP は、関連ステーションに代わって IP ARP 要求に対して応答します。この機能は、ワイヤレス IP Phone のスタンバイ時間にとって重要です。 |
| CCX バージョン（CCX Version） | AP が CCX 準拠の場合、このフィールドは CCX バージョンを表示します。 |
| ベスト エフォート（Best Effort） | ベスト エフォート キューに関連した情報が記載されています。 |
| バックグラウンド（Background） | バックグラウンド キューに関連した情報が記載されています。 |
| ビデオ（Video） | ビデオ キューに関連した情報が記載されています。 |
| 音声（Voice） | 音声キューに関連した情報が記載されています。 |

# Cisco IP Phone Web ページ

ここでは、電話機の Web ページから取得可能な情報について説明します。この情報は、電話機の操作のリモート モニタやトラブルシューティングに役立てることができます。

### 関連トピック

Web ベースの設定ユーティリティへのアクセス
電話機の IP アドレスの特定
Cisco IP Phone への Web アクセスの許可

# 情報（Info）

このタブ上のフィールドは読み取り専用のため、編集できません。

# システム ステータス（System Status）

## システム情報（System Information）

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| 接続タイプ（Connection Type） | 電話機のインターネット接続のタイプを示します。<br>• DHCP<br>• スタティック IP |
| 現在の IP（Current IP） | IP 電話に割り当てられた現在の IP アドレスが表示されます。 |
| ホスト名（Host Name） | 電話機に割り当てられた現在のホスト名が表示されます。 |
| ドメイン（Domain） | 電話機のネットワーク ドメイン名が表示されます。<br>デフォルト：cisco.com |
| 現在のネットマスク（Current Netmask） | 電話機に割り当てられたネットワーク マスクが表示されます。 |
| DHCP から DNS（DNS from DHCP） | DHCP サーバによって割り当てられた IP アドレスが表示されます。 |
| プライマリ DNS（Primary DNS） | 電話機に割り当てられたプライマリ DNS サーバが表示されます。 |
| 現在のゲートウェイ（Current Gateway） | 電話機に割り当てられたデフォルト ルータが表示されます。 |
| セカンダリ DNS（Secondary DNS） | 電話機に割り当てられたセカンダリ DNS サーバが表示されます。 |

## リブート履歴

リブート履歴の詳細については、再起動の理由を参照してください。

## 製品情報（Product Information）

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| 製品名（Product Name） | Cisco IP Phone のモデル番号。 |

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| ソフトウェア バージョン（Software Version） | Cisco IP Phone ファームウェアのバージョン番号。 |
| MACアドレス（MAC Address） | Cisco IP Phone のハードウェア アドレス。 |
| カスタマイゼーション（Customization） | RC ユニットの場合は、このフィールドで、ユニットがカスタマイズされているかどうかを示します。保留中は、プロビジョニングの準備ができている新しい RC ユニットを意味します。ユニットがすでにカスタマイズされたプロファイルを取得している場合は、このフィールドにユニットをプロビジョニングした会社の名前が表示されます。 |
| シリアル番号（Serial Number） | Cisco IP Phone のシリアル番号。 |
| ハードウェア バージョン（Hardware Version） | Cisco IP Phone ハードウェアのバージョン番号。 |
| VID | PID に関連付けられた電話機のデバイス バージョン ID。 |
| クライアント証明書（Client Certificate） | ITSP ネットワークで使用するために Cisco IP Phone を認証するクライアント証明書のステータス。このフィールドは、クライアント証明書が電話機に正しくインストールされているかどうかを示します。 |

## 電話機のステータス

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| 現在の日時（Current Time） | システムの現在の日時。たとえば、08/06/14 1:42:56 a.m. など。 |
| 経過時間（Elapsed Time） | システムの最後のリブート以降に経過した時間の合計。たとえば、7 days, 02:13:02 など。 |
| 接続先 VLAN ID（Operational VLAN ID） | 該当する場合の現在使用中の VLAN の ID。 |
| スイッチ ポート（SW Port） | IP 電話からスイッチへのイーサネット接続のタイプが表示されます。 |

## コールの状態（Call Status）

### 内線ステータス

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| 登録の状態（Registration State） | 電話機が ITSP に登録されいる場合は [登録済み（Registered）] が、登録されていない場合は [未登録（Not Registered）] が表示されます。 |
| 最終登録時刻（Last Registration At） | 回線が登録された最終日時。 |
| 登録間隔（Next Registration In） | 次の登録更新までの秒数。 |
| マップされた SIP ポート（Mapped SIP Port） | NAT によってマップされた SIP ポートのポート番号。 |

### 回線 1 ステータス/コール 2 ステータス

電話機上の回線とコールごとに次のパラメータが表示されます。

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| コール状態（Call State） | コールのステータス。 |
| 時間（Duration） | コールの継続時間。 |
| リモート アドレス（Remote Address） | リモート デバイスのアドレス。 |
| ローカル アドレス（Local Address） | ローカル デバイスのアドレス。 |
| 開始時刻（Start Time） | コールの開始時刻 |
| タイプ（Type） | コールの方向。 |
| ピア名（Peer Name） | 内線電話の名前。 |
| ピア電話（Peer Phone） | 内線電話の電話番号。 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 送信パケット（Sender Packets） | 音声ストリームが開いていたために送信されたRTP音声パケットの数。<br>（注） この数値は、必ずしもコールの開始以降に送信されたRTP音声パケットの数と等しいとは限りません。これは、コールが途中で保留されることがあるからです。 |
| 送信オクテット（Sender Octets） | 電話機から送信されたオクテットの総数。 |
| 送信コーデック（Sender Codec） | 送信された音声ストリームのタイプ（コーデックからのRTPストリーミング音声）：G.729、iLBC、G.711 u-law、またはG.711 A-law。 |
| 受信喪失パケット（Rcvr Lost Packets） | 失われたRTPパケット（転送中に喪失）。 |
| 平均ジッター（Avg Jitter） | 受信音声ストリームが開いていたために測定された予想平均RTPパケットジッタ（パケットがネットワークを通過中に発生する動的遅延）。 |
| 受信コーデック（Rcvr Codec） | 受信された音声ストリームのタイプ（コーデックからのRTPストリーミング音声）：G.729、iLBC、G.711 u-law、またはG.711 A-law。 |
| 受信パケット（Rcvr Packets） | 音声ストリームが開いていたために受信されたRTP音声パケットの数。<br>（注） この数値は、必ずしもコールの開始以降に受信したRTP音声パケットの数と等しいとは限りません。これは、コールが途中で保留されることがあるからです。 |
| 受信オクテット（Rcvr Octets） | 電話機で受信されたオクテットの総数。 |
| MOS-LQK | リスニング品質（LQK）の平均オピニオン評点（MOS）を客観的に評価するスコアで、5（優良）～1（不良）でランク付けされます。このスコアは、ボイスストリームの先行の8秒間でのフレーム損失を原因とする、可聴の秘匿イベントに基づいています。<br>（注） MOS LQKスコアは、Cisco IP Phoneが使用するコーデックのタイプに基づいて変化する可能性があります。 |
| 平均MOS LQK（AVG MOS LQK） | 音声ストリーム全体で測定された平均MOS LQKスコア。 |

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| 最小 MOS LQK（Min MOS LQK） | 音声ストリームの開始以降に測定された最も低い MOS LQK スコア。 |
| 最大 MOS LQK（Max MOS LQK） | 音声ストリーム開始以降に測定されたベースライン MOS LQK スコアまたは最も高い MOS LQK スコア。<br>これらのコーデックは、フレーム損失なしの通常の条件で次の最大 MOS LQK スコアを提供します。<br>• G.711 は 4.5<br>• G.722 のスコア：4.5<br>• G.729 A /AB は 3.7<br>• iLBC は 3.9 |
| MOS LQK のバージョン（MOS LQK Version） | MOS LQK のスコアを計算するために使用されるシスコ独自のアルゴリズムのバージョン |
| 累積フレーム損失率（Cumulative Conceal Ratio） | 隠蔽フレームの総数を、音声ストリームの開始以降に受信された音声フレームの総数で割った値。 |
| 直近フレーム損失率（Interval Conceal Ratio） | アクティブな音声に先行する3秒間の間隔における、音声フレームに対する隠蔽フレームの比率。音声アクティビティ検出（VAD）を使用する場合は、アクティブな音声を 3 秒集めるために、もっと長い間隔が必要になる可能性があります。 |
| 最大フレーム損失率（Max Conceal Ratio） | 音声ストリームの開始以降、最も高い間隔の損失率。 |
| フレーム損失発生秒数：（Conceal Secs:） | 音声ストリームの開始以降、隠蔽イベント（フレーム損失）があった秒数（[深刻なフレーム損失発生秒数（Severely Conceal Secs）] の値を含む）。 |
| 深刻なフレーム損失発生秒数（Severely Conceal Secs） | 音声ストリームの開始以降、5%を超える隠蔽イベント（フレーム損失）があった秒数。 |
| 遅延（Latency） | 遅延のミリ秒数。 |
| 最大ジッター（Max Jitter） | 受信機ジッタのミリ秒数。 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 受信削除（Rcvr Discarded） | 受信中の音声ストリームで廃棄されたRTPパケットの数（不良パケット、過度の遅延などによる）。<br>（注） 電話機は、シスコ ゲートウェイによって生成されたペイロード タイプ 19 のコンフォート ノイズ パケットを破棄します。これによって、このカウンタがインクリメントされます。 |

## ダウンロード ステータス

### 壁紙画像ダウンロード URL（Wallpaper Picture Download URL）

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 最後の壁紙ダウンロード ステータス（Last Wallpaper Download Status） | 最後にダウンロードした壁紙画像のステータスが表示されます。 |

### ダウンロードしたロケール パッケージ

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| ロケール ダウンロード ステータス（Locale Download Status） | ダウンロードしたロケール パッケージのステータスが表示されます。 |
| ダウンロード済みディクショナリ情報（Downloaded Dictionary Info） | 電話機で指定された TFTP/HTTP プロビジョニング サーバからダウンロードされたディクショナリ。 |
| ダウンロード済みフォント情報（Downloaded Font Info） | ダウンロードしたフォント名が表示されます。 |

### ファームウェア アップグレード ステータス

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| ファームウェア アップグレード ステータス 1（Firmware Upgrade Status 1） | アップグレードステータス（障害または成功）とその理由が表示されます。 |
| ファームウェア アップグレード ステータス 2（Firmware Upgrade Status 2） | |
| ファームウェア アップグレード ステータス 3（Firmware Upgrade Status 3） | |

### プロビジョニング ステータス

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| プロビジョニング ステータス 1（Provisioning Status 1） | 電話機のプロビジョニング ステータス（再同期）が表示されます。 |
| プロビジョニング ステータス 2（Provisioning Status 2） | |
| プロビジョニング ステータス 3（Provisioning Status 3） | |

（注） アップグレードとプロビジョニングのステータスが時系列とは逆の順序（リブート歴と同様）で時刻と理由とともに表示されます。

### カスタム CA ステータス

これらのフィールドには、カスタム認証局（CA）を使用したプロビジョニングのステータスが表示されます。

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| カスタムCAプロビジョニングステータス（Custom CA Provisioning Status） | カスタム CA を使用したプロビジョニングが成功したか失敗したかを示します。<br>• 最後のプロビジョニングが mm/dd/yyyy HH:MM:SS に成功した<br>• 最後のプロビジョニングが mm/dd/yyyy HH:MM:SS に失敗した |
| カスタム CA 情報（Custom CA Info） | カスタム CA に関する情報が表示されます。<br>• [インストール済み（Installed）]：「CN 値」が表示されます。ここで、「CN 値」は最初の証明書の [サブジェクト（Subject）] フィールドの CN パラメータの値です。<br>• [未インストール（Not Installed）]：カスタム CA 証明書がインストールされていない場合に表示されます。 |

カスタム CA 証明書は [プロビジョニング（Provisioning）] タブで設定します。カスタム CA 証明書の詳細については、『*Cisco IP Phone 7800 Series and 8800 Series for Third-Party Call Control Provisioning Guide*』を参照してください。

## ネットワーク統計（Network Statistics）

### イーサネット情報

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| TxFrames | 電話機が送信したパケットの合計数。 |
| TxBroadcasts | 電話機が送信したブロードキャスト パケットの合計数。 |
| TxMulticasts | 電話機が送信したマルチキャスト パケットの合計数。 |
| TxUnicasts | 電話機が送信したユニキャスト パケットの合計数。 |
| RxFrames | 電話機が受信したパケットの総数。 |
| RxBroadcasts | 電話機が受信したブロードキャスト パケットの合計数。 |
| RxMulticasts | 電話機が受信したマルチキャスト パケットの合計数。 |
| RxUnicasts | 電話機が受信したユニキャスト パケットの合計数。 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| RxPacketNoDes | ダイレクト メモリ アクセス（DMA）記述子がないため廃棄されたパケットの総数。 |

## ネットワークとアクセス ポートの情報

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| RxtotalPkt | 電話機が受信したパケットの合計数。 |
| RxcrcErr | CRC が失敗した、受信されたパケットの合計数。 |
| RxalignErr | 受信された長さが 64 ～ 1522 バイトで、フレーム チェック シーケンス（FCS）が不正なパケットの合計数。 |
| Rxmulticast | 電話機が受信したマルチキャスト パケットの合計数。 |
| Rxbroadcast | 電話機が受信したブロードキャスト パケットの合計数。 |
| Rxunicast | 電話機が受信したユニキャスト パケットの合計数。 |
| RxshortErr | サイズが 64 バイトより小さい、受信された FCS エラー パケットまたは Align エラー パケットの合計数。 |
| RxshortGood | サイズが 64 バイトより小さい、受信された有効なパケットの合計数。 |
| RxlongGood | サイズが 1522 バイトより大きい、受信された有効なパケットの合計数。 |
| RxlongErr | サイズが 1522 バイトより大きい、受信された FCS エラー パケットまたは Align エラー パケットの合計数。 |
| Rxsize64 | 無効なパケットを含め、サイズが 0 ～ 64 バイトまでの受信されたパケットの合計数。 |
| Rxsize65to127 | 無効なパケットを含め、サイズが 65 ～ 127 バイトまでの受信されたパケットの合計数。 |
| Rxsize128to255 | 無効なパケットを含め、サイズが 128 ～ 255 バイトまでの受信されたパケットの合計数。 |
| Rxsize256to511 | 無効なパケットを含め、サイズが 256 ～ 511 バイトまでの受信されたパケットの合計数。 |

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| Rxsize512to1023 | 無効なパケットを含め、サイズが 512 ～ 1023 バイトまでの受信されたパケットの合計数。 |
| Rxsize1024to1518 | 無効なパケットを含め、サイズが 1024 ～ 1518 バイトまでの受信されたパケットの合計数。 |
| RxtokenDrop | リソース不足（FIFO オーバーフローなど）が原因でドロップされたパケットの合計数。 |
| TxexcessDefer | メディアが使用中であることが原因で送信が遅延したパケットの合計数。 |
| TxlateCollision | パケット転送の開始後 512 ビット時間過ぎてから衝突が起こった回数。 |
| TxtotalGoodPkt | 電話機が受信した有効なパケット（マルチキャスト、ブロードキャスト、およびユニキャスト）の合計数。 |
| Txcollisions | パケットの送信中に生じた衝突の合計回数。 |
| TxexcessLength | パケット送信が 16 回試行されたために送信されなかったパケットの合計数。 |
| Txbroadcast | 電話機が送信したブロードキャスト パケットの合計数。 |
| Txmulticast | 電話機が送信したマルチキャスト パケットの合計数。 |
| lldpFramesOutTotal | 電話機から送信された LLDP フレームの合計数。 |
| lldpAgeoutsTotal | キャッシュ内でタイムアウトになった LLDP フレームの合計数。 |
| lldpFramesDiscardedTotal | 必須 TLV のいずれかについて、欠落している、順序に誤りがある、または範囲を超える文字列長が含まれているために廃棄された LLDP フレームの合計数。 |
| lldpFramesInErrorsTotal | 検出可能なエラーが 1 つ以上含まれる状態で受信された LLDP フレームの合計数。 |
| lldpFramesInTotal | 電話機が受信した LLDP フレームの合計数。 |
| lldpTLVDiscardedTotal | 破棄された LLDP TLV の総数。 |
| lldpTLVUnrecognizedTotal | 電話機で認識されなかった LLDP TLV の総数。 |
| CDPNeighborDeviceId | CDP が検出した、このポートに接続されているデバイスの ID。 |

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| CDPNeighborIP | CDP で検出されたネイバー デバイスの IP アドレス。 |
| CDPNeighborPort | CDP で検出された、電話機が接続されているネイバーデバイスのポート。 |
| LLDPNeighborDeviceId | LLDP で検出された、このポートに接続されているデバイスの ID。 |
| LLDPNeighborIP | LLDP で検出されたネイバー デバイスの IP アドレス。 |
| LLDPNeighborPort | LLDP で検出された、電話機が接続されているネイバー デバイスのポート。 |
| PortSpeed | 速度と二重化モード。 |

### DHCP

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| IPv4 | DHCP ステータスに関する情報。 |

## デバッグ情報

### コンソール ログ

電話機の syslog 出力が逆の順序（最新のものが一番上）で表示されます。表示には個別のログ ファイルへのハイパーリンクが含まれています。コンソール ログ ファイルには、電話機が受信したデバッグ メッセージとエラー メッセージが含まれます。

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| デバッグ メッセージ 0（Debug Message 0） | メッセージ |
| デバッグ メッセージ 1（Debug Message 1） | messages.0 |
| デバッグ メッセージ 2（Debug Message 2） | messages.1 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| デバッグ メッセージ 3（Debug Message 3） | messages.2 |
| デバッグ メッセージ 4（Debug Message 4） | messages.3 |
| デバッグ メッセージ 5（Debug Message 5） | messages.4 |
| デバッグ メッセージ 6（Debug Message 6） | messages.5 |
| デバッグ メッセージ 7（Debug Message 7） | messages.6 |
| デバッグ メッセージ 8（Debug Message 8） | messages.7 |

### コア ダンプ

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| コア ダンプ（Core Dump） | コア ダンプは、プログラムが異常終了したときなどの特定の時刻に記録されたプログラムの作業メモリの状態です。 |

### ブラウザ情報

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 読み込み時間（Loading Time） | ページがブラウザに読み込まれるまでの経過時間。<br>（注） Safari と IE 9.0 以前はこのパラメータをサポートしません。 |
| ブラウザのバージョン（Browser Version） | ブラウザのバージョン。Firefox 31 など。 |
| OS Version | Windows オペレーティング システムのバージョン。 |
| プラットフォーム（Platform） | ブラウザがコンパイルされたプラットフォーム。 |
| 幅（Width） | ブラウザの現在の幅。 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 高さ（Height） | ブラウザの現在の高さ。 |

# 音声

## システム（System）

### システム設定（System Configuration）

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 制限付きアクセス ドメイン（Restricted Access Domains） | この機能は、ソフトウェアのカスタマイズを実装するときに使用されます。 |
| Web サーバの有効化（Enable Web Server） | IP 電話の Web サーバを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| プロトコルの有効化（Enable Protocol） | プロトコルのタイプを選択します。<br>• Http<br>• Https |
| 直接アクション URL の有効化（Enable Direct Action Url） | URL の直接アクションを有効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| セッション最大タイムアウト（Session Max Timeout） | セッションの最大タイムアウト。<br>デフォルト：3600 |
| セッション アイドル タイムアウト（Session Idle Timeout） | セッションのアイドル タイムアウト。<br>デフォルト：3600 |
| Web サーバ ポート（Web Server Port） | 電話機の Web ユーザ インターフェイスのポート番号。<br>デフォルト：80 |
| Web 管理者アクセスの有効化（Enable Web Admin Access） | 電話機の Web ユーザ インターフェイスへのローカル アクセスを有効または無効にできます。ドロップダウン メニューから [はい（Yes）] または [いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト：はい（Yes） |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| Admin パスワード（Admin Password） | 管理者のパスワード。<br>デフォルト：パスワードなし |
| ユーザ パスワード（User password） | ユーザのパスワード。<br>デフォルト：空白 |
| Phone-UI-User-Mode | 電話インターフェイスを使用している電話機ユーザに表示されるメニューとオプションを制限できます。このパラメータを有効にしてアクセスを制限する場合は、[はい（Yes）]を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）]<br>その後、特定のパラメータは、プロビジョニング ファイルを使用して、"na" または "ro" として指定されます。"na" として指定されたパラメータは電話インターフェイスに表示されません。"ro" として指定されたパラメータはユーザが編集できません。 |

### インターネット接続タイプ

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 接続タイプ（Connection Type） | インターネット接続のタイプを選択します。<br>• DHCP<br>• スタティック IP |

### スタティック IP の設定

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| スタティック IP（Static IP） | スタティック IP がインターネット接続のタイプとして選択された場合に、電話機に割り当てられたスタティック IP アドレスが表示されます。 |
| ネットマスク（Netmask） | スタティック IP がタイプとして選択された場合に、IP マスクが表示されます。 |
| ゲートウェイ（Gateway） | デフォルト ルータ IP アドレス。DHCP が割り当てられた場合は、空白。 |

## オプション ネットワーク設定

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| ホスト名（Host Name） | Cisco IP Phone のホスト名。 |
| ドメイン（Domain） | Cisco IP Phone のネットワーク ドメイン。<br>LDAP を使用している場合は、LDAP 設定を参照してください。 |
| プライマリ DNS（Primary DNS） | DHCP が有効な場合に、DHCP 提供 DNS サーバに加えて Cisco IP Phone で使用される DNS サーバ。DHCP が無効な場合、これがプライマリ DNS サーバになります。<br>デフォルト：空白<br>LDAP を使用している場合は、LDAP 設定を参照してください。 |
| セカンダリ DNS（Secondary DNS） | DHCP が有効な場合に、DHCP 提供 DNS サーバに加えて Cisco IP Phone で使用される DNS サーバ。DHCP が無効な場合、これがセカンダリ DNS サーバになります。<br>デフォルト：空白 |
| Syslog サーバ（Syslog Server） | syslog サーバの名前とポートを指定します。この機能は、IP 電話システム情報や重要なイベントを記録するためのサーバを指定します。デバッグ サーバと Syslog サーバの両方が指定されている場合は、Syslog メッセージもデバッグ サーバに記録されます。 |
| デバッグ レベル（Debug Level） | 0 ～ 2 のデバッグ レベル。レベルが高いほど、詳細なデバッグ情報が生成されます。ゼロ（0）は、デバッグ情報が生成されないことを意味します。SIP メッセージを記録するには、デバッグ レベルを 2 以上に設定する必要があります。<br>デフォルト：0 |
| レイヤ 2 ロギング（Layer 2 Logging） | IP 電話ネットワーク レイヤのデバッグ用として使用されます。これはシステムのパフォーマンスに影響を及ぼす可能性があるため、シスコテクニカル サポートからそうするようにアドバイスされた場合以外は使用しないでください。デフォルトでは[いいえ（No）] に設定されます。 |
| プライマリ NTP サーバ（Primary NTP Server） | 時刻の同期に使用されるプライマリ NTP サーバの IP アドレスまたは名前。<br>デフォルト：空白 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| セカンダリ NTP サーバ（Secondary NTP Server） | 時刻の同期に使用されるセカンダリ NTP サーバの IP アドレスまたは名前。<br>デフォルト：空白 |
| SSH アクセス（SSH Access） | 管理者は、このパラメータを設定することにより、SSH コンソールを制御できます。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| DNS サーバ順序（DNS Server Order） | DNS サーバの選択方法を指定します。<br>• Manual-Dhcp<br>• 手動（Manual）<br>• Dhcp-Manual |
| DNS クエリ シーケンシャル（DNS Query Sequential） | パラレルまたはシーケンシャル DNS クエリを実行します。<br>• [いいえ（No）]：パラレル DNS クエリ モードを使用して、IP 電話が同じ要求をすべての DNS サーバに同時に送信します。DNS ルックアップを実行すると、IP 電話が最初の着信応答を受け入れます。<br>• [はい（Yes）]：IP 電話が DNS クエリを順番に送信します。 |
| DNS キャッシュ TTL 無視（DNS Cache TTL Ignore） | [はい（Yes）] に設定した場合は、DNS クエリの結果がキャッシュされません。[いいえ（No）] に設定した場合は、電話機が TTL 応答に従って、A/AAAA/SRV/CNAME レコードをキャッシュします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| SSH ユーザ ID（SSH User ID） | 管理者は、SSH ログイン用のユーザ ID を設定できます。<br>デフォルト：空白 |
| SSH パスワード（SSH Password） | 管理者は、SSH ログイン用のパスワードを設定できます。<br>デフォルト：空白 |
| SSLv3 の有効化（Enable SSLv3） | SSLv3 を有効にする場合は [はい（Yes）] を選択します。無効にする場合は [いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |

## VLAN の設定

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| VLAN の有効化（Enable VLAN） | VLAN を有効にする場合は [はい（Yes）] を選択します。無効にする場合は [いいえ（No）] を選択します。 |
| CDP の有効化（Enable CDP） | Cisco Discovery Protocol を備えたスイッチを使用している場合にのみ CDP を有効にします。CDP は、ネゴシエーション ベースで、IP 電話が存在する VLAN を特定します。 |
| LLDP-MED の有効化（Enable LLDP-MED） | 電話機の LLDP-MED がそれ自体をその検出プロトコルを使用しているデバイスにアドバタイズできるようにする場合は、[はい（Yes）] を選択します。<br>LLDP-MED 機能が有効になっている場合は、電話機の初期化が完了して、レイヤ 2 接続が確立されたら、電話機が LLDP-MED PDU フレームを送信します。電話機が確認応答を受信しなかった場合は、手動で設定された VLAN またはデフォルト VLAN が必要に応じて使用されます。CDP が同時に使用された場合は、6 秒の待機期間が使用されます。待機期間は、電話機の全体的なスタートアップ時間を増加させます。 |
| ネットワーク起動遅延（Network Startup Delay） | この値を設定すると、スイッチが転送中状態になってから、電話機が最初の LLDP-MED パケットを送信するまでの時間が延びます。デフォルト遅延値は 3 秒です。一部のスイッチの設定では、LLDP-MED を機能させるためにこの値を増やさなければならない場合があります。遅延の設定は、スパニング ツリー プロトコルを使用しているネットワークで重要になる可能性があります。 |
| VLAN ID（Admin. VLAN ID） | CDP なしの VLAN（VLAN が有効で CDP が無効）を使用する場合は、IP 電話の VLAN ID を入力します。音声パケットのみが VLAN ID を使ってタグ付けされることに注意してください。VLAN ID に対して 1 を使用しないでください。 |

### インベントリの設定

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| アセット ID（Asset ID） | LLDP-MED を使用しているときに、在庫管理用のアセット ID を入力できるようにします。アセット ID のデフォルト値は空です。このフィールドを使用している場合は、32 文字未満の文字列を入力します。<br>アセット ID は、Web 管理インターフェイスまたはリモート プロビジョニングを使用した場合にのみプロビジョニングできます。電話画面にはアセット ID が表示されません。<br>[アセット ID（Asset ID）] フィールドを変更すると、電話機がリブートします。 |

## SIP

### SIP パラメータ

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 最大転送（Max Forward） | SIP 最大転送値。1 ～ 255 の範囲にすることができます。<br>デフォルト：70 |
| 最大リダイレクション（Max Redirection） | 無限ループを避けるために INVITE をリダイレクト可能な回数。<br>デフォルト：5 |
| SIP ユーザ エージェント名（SIP User Agent Name） | アウトバウンド REGISTER 要求で使用されます。<br>デフォルト：$VERSION<br>空の場合は、ヘッダーが含まれません。GPP_A ～ GPP_D に対応する $A ～ $D のマクロ展開が許可されます。 |
| SIP サーバ名（SIP Server Name） | インバウンド応答への応答で使用されるサーバ ヘッダー。<br>デフォルト：$VERSION |
| SIP 登録ユーザ エージェント名（SIP Reg User Agent Name） | REGISTER 要求で使用されるユーザ エージェント名。これが指定されていない場合は、[SIP ユーザ エージェント名（SIP User Agent Name）] も REGISTER 要求で使用されます。<br>デフォルト：空白 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| SIP 受け入れ言語（SIP Accept Language） | Accept-Languageヘッダーが使用されます。アクセスするには、[SIP] タブをクリックして、[SIP 受け入れ言語（SIP Accept Language）] フィールドに値を入力します。<br>デフォルトはありません。空の場合は、ヘッダーが含まれません。 |
| コンパクト ヘッダーの使用（Use Compact Header） | [はい（Yes）] に設定した場合は、電話機がアウトバウンド SIP メッセージでコンパクトな SIP ヘッダーを使用します。インバウンド SIP 要求には通常のヘッダーが含まれており、電話機は着信ヘッダーをコンパクト ヘッダーに置き換えます。[いいえ（No）] に設定した場合は、電話機が通常の SIP ヘッダーを使用します。インバウンド SIP 要求にコンパクト ヘッダーが含まれている場合は、電話機が、この設定に関係なく、応答を生成するときに同じコンパクト ヘッダーを再利用します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| 通話パッケージ（Talk Package） | ユーザが外部アプリケーションでボタンをクリックすることにより、コールに応答またはコールを再開できるようにする BroadSoft 通話パッケージのサポートを有効にします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| 保留パッケージ（Hold Package） | ユーザが外部アプリケーションでボタンをクリックすることにより、コールを保留にできるようにする BroadSoft 保留パッケージのサポートを有効にします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| 会議パッケージ（Conference Package） | ユーザが外部アプリケーションでボタンをクリックすることにより、会議コールを開始できるようにする BroadSoft 会議パッケージのサポートを有効にします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| RFC 2543 コール保留（RFC 2543 Call Hold） | [はい（Yes）] に設定した場合は、SIP re-INVITE をピアに送信してコールを保留にしたときに、ユニットの SDP に c=0.0.0.0 構文が含まれます。[No（いいえ）] に設定した場合は、ユニットの SDP に c=0.0.0.0 構文が含まれません。いずれの場合も、ユニットの SDP には、常に、a=sendonly 構文が含まれます。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| SIP TCP ポート最小（SIP TCP Port Min） | SIP セッションに使用可能な最小 TCP ポート番号を指定します。<br>デフォルト：5060 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| SIP TCP ポート最大（SIP TCP Port Max） | SIPセッションに使用可能な最大TCPポート番号を指定します。<br>デフォルト：5080 |
| 発信者 ID ヘッダー（Caller ID Header） | PAID-RPID-FROM、PAID-FROM、RPID-PAID-FROM、RPID-FROM、またはFROMヘッダーから発信者 ID を取得するためのオプションを提供します。<br>デフォルト：PAID-RPID-FROM |
| ディバージョン情報の表示（Display Diversion Info） | SIP メッセージに含まれるディバージョン情報を LCD 上に表示するかどうか。 |
| 最大 INVITE 再試行回数（Max INVITE Retry Attempts） | 電話機による INVITE 再試行回数の最大数。<br>デフォルト：6 |
| 最大 NON-INVITE 再試行回数（Max NON-INVITE Retry Attempts） | 電話機による NON-INVITE 再試行回数の最大数。<br>デフォルト：6 |

### SIP タイマー値

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| SIP T1 | 0 ～ 64 秒の範囲の RFC 3261 T1 値（RTT 推定）。<br>デフォルトは 0.5 秒です。 |
| SIP T2 | 0 ～ 64 秒の範囲の RFC 3261 T2 値（非 INVITE 要求と INVITE 応答の最大再送信インターバル）。<br>デフォルトは 4 秒です。 |
| INVITE 期限切れ（INVITE Expires） | INVITE 要求の Expires ヘッダーの値。0 を入力した場合は、要求に Expires ヘッダーが含まれません。範囲は 0 ～ 2000000 です。<br>デフォルトは 240 秒です。 |
| ReINVITE 期限切れ（ReINVITE Expires） | ReINVITE 要求の Expires ヘッダーの値。0 を入力した場合は、要求に Expires ヘッダーが含まれません。範囲は 0 ～ 2000000 です。<br>デフォルト：30 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 登録再試行インターバル（Reg Retry Intv） | 最後の登録中の失敗後に Cisco IP Phone が登録を再試行するまでのインターバル。範囲は 1 ～ 2147483647 です。<br>デフォルト：30<br>詳細については、後述する注を参照してください。 |
| 登録再試行ロング インターバル（Reg Retry Long Intvl） | 登録が [登録 SRC の再試行（Retry Reg RSC）] と一致しない SIP 応答コードで失敗した場合は、Cisco IP Phone が指定された長さの時間だけ待機してから再試行します。このインターバルが 0 の場合は、電話機が試行を停止します。この値は、0 にできない [登録再試行インターバル（Reg Retry Intvl）] の値よりも大きくする必要があります。<br>デフォルト：1200<br>詳細については、後述する注を参照してください。 |
| 登録再試行ランダム遅延（Reg Retry Random Delay） | 失敗後に REGISTER を再試行するときに [登録再試行インターバル（Register Retry Intvl）] に追加されるランダム遅延範囲（秒単位）。ショート タイマーに追加される最小ランダム遅延と最大ランダム遅延。指定できる範囲は 0 ～ 2147483647 です。<br>デフォルト：0 |
| 登録再試行ロング ランダム遅延（Reg Retry Long Random Delay） | 失敗後に REGISTER を再試行するときに [登録再試行ロング インターバル（Register Retry Long Intvl）] に追加されるランダム遅延範囲（秒単位）。<br>デフォルト：0 |
| 登録再試行インターバル上限（Reg Retry Intvl Cap） | 指数関数的遅延の最大値。指数関数的バックオフ再試行遅延を制限する最大値（登録再試行インターバルで開始して、再試行ごとに倍増する）。デフォルトは 0 に設定されます。これは、指数関数的バックオフを無効にします（つまり、エラー再試行インターバルは、必ず、登録再試行インターバルになります）。この機能が有効になっている場合は、登録再試行ランダム遅延が指数関数的バックオフ遅延値に加算されます。指定できる範囲は 0 ～ 2147483647 です。<br>デフォルト：0 |
| サブスクライブ再試行インターバル（Sub Retry Intvl） | この値（秒単位）によって、最後のサブスクライブ要求が失敗したときの再試行インターバルが決定されます。<br>デフォルト：10。 |

（注） 電話機は、忙しすぎて要求を処理できないSIPプロキシサーバから受け取ったRETRY-AFTER値を使用できます（503 サービス使用不可メッセージ）。応答メッセージに RETRY-AFTER ヘッダーが含まれている場合は、電話機が指定された長さの時間だけ待機してから再度 REGISTER を試みます。RETRY-AFTER ヘッダーが存在しない場合は、電話機が [登録再試行インターバル（Reg Retry Interval）] または [登録再試行ロング インターバル（Reg Retry Long Interval）] で指定された値だけ待機します。

### 応答ステータス コード処理

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| バックアップ RSC の試行（Try Backup RSC） | このパラメータは、指定された応答コードの受信時にフェールオーバーを呼び出すように設定できます。<br>デフォルト：空白 |
| 登録 RSC の再試行（Retry Reg RSC） | 電話機が最後の登録に失敗してから登録を再試行するまでのインターバル。<br>デフォルト：空白 |

### RTP パラメータ

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| RTP ポート最小（RTP Port Min） | RTP の送受信用の最小ポート番号。RTP の送受信用の最小ポート番号。少なくとも 10 個の偶数ポート（回線数の 2 倍）を含む範囲を定義する必要があります。たとえば、RTP ポート最小を 16384 に、RTP ポート最大を 16538 に設定します。<br>デフォルト：16384 |
| RTP ポート最大（RTP Port Max） | RTP の送受信用の最大ポート番号。少なくとも 10 個の偶数ポート（回線数の 2 倍）を含む範囲を定義する必要があります。たとえば、RTP ポート最小を 16384 に、RTP ポート最大を 16538 に設定します。<br>デフォルト：16538 |
| RTP パケット サイズ（RTP Packet Size） | 秒単位のパケット サイズ。0.01 ～ 0.13 の範囲にすることができます。有効値は 0.01 秒の倍数にする必要があります。<br>デフォルト：0.02 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| RTCP 送信有効（RTCP Tx Enable） | アクティブな接続上の Real-Time Transport Control Protocol（RTCP）送信者レポートを有効にする場合は、[はい（Yes）] に設定します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |

### SDP ペイロード タイプ

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| AVT 動的ペイロード（AVT Dynamic Payload） | AVT 動的ペイロード タイプ。範囲は 96 ～ 127 です。<br>デフォルト：101 |

### NAT サポート パラメータ

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 受信 VIA の処理（Handle VIA received） | 電話機で VIA ヘッダー内の受信パラメータを処理できるようにします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| VIA rport の処理（Handle VIA rport） | 電話機で VIA ヘッダー内の rport パラメータを処理できるようにします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| 受信 VIA の挿入（Insert VIA received） | received-from IP 値と VIA sent-by IP 値が異なる場合に、SIP 応答の VIA ヘッダーに受信パラメータを挿入できるようにします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| VIA rport の挿入（Insert VIA rport） | received-from IP 値と VIA sent-by IP 値が異なる場合に、SIP 応答の VIA ヘッダーに rport パラメータを挿入できるようにします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| VIA アドレスの置換（Substitute VIA Addr） | ユーザが VIA ヘッダー内の NAT でマッピングされた IP:port 値を使用できるようにします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 送信元ポートへの応答の送信（Send Resp To Src Port） | VIA sent-by ポートの代わりに、要求送信元ポートに応答を送信できるようにします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| STUN 有効（STUN Enable） | STUN を使用して NAT マッピングを検出できるようにします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| STUN テスト有効（STUN Test Enable） | STUN 有効機能が有効で、有効な STUN サーバを使用可能な場合は、電話機が電源オン時に NAT タイプ検出操作を実行できます。電話機が、設定された STUN サーバに接続し、検出の結果が後続のすべての REGISTER 要求内の Warning ヘッダーで報告されます。電話機が対称 NAT または対称ファイアウォールを検出すると、NAT マッピングが無効になります。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| STUN サーバ（STUN Server） | NAT マッピング検出のために接続する STUN サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名。パブリック STUN サーバを使用することも、独自の STUN サーバをセットアップすることもできます。<br>デフォルト：空白 |
| 外部 IP（EXT IP） | すべての発信 SIP メッセージ内の電話機の実際の IP アドレスを置き換える外部 IP アドレス。0.0.0.0 を指定した場合は、どの IP アドレス置換も実行されません。<br>このパラメータが指定された場合は、電話機が SIP メッセージと SDP を生成するときにこの IP アドレスを想定します（その回線で NAT マッピングが有効になっている場合）。<br>デフォルト：空白 |
| 外部 RTP ポート最小（EXT RTP Port Min） | RTP ポートの最小番号の外部ポートマッピング番号。この値が 0 以外の場合は、すべての発信 SIP メッセージ内の RTP ポート番号が外部 RTP ポート範囲内の対応するポート値に置き換えられます。<br>デフォルト：0 |
| NAT キープアライブ インターバル（NAT Keep Alive Intvl） | NAT マッピング キープアライブ メッセージ間のインターバル。<br>デフォルト：15 |

# プロビジョニング

## 設定プロファイル（Configuration Profile）

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| プロビジョン有効（Provision Enable） | 再同期アクションを許可または拒否します。<br>デフォルト：空白 |
| リセット時の再同期（Resync On Reset） | [はい（Yes）] に設定された場合は、電源投入直後やアップグレードのたびに、デバイスが再同期操作を実行します。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| 再同期ランダム遅延（Resync Random Delay） | 秒単位で指定される、リセットを実行する前のブートアップシーケンスに続くランダム遅延。同時に電源がオンになるようにスケジュールされたIPテレフォニーデバイスのプールでは、これにより、各ユニットがプロビジョニングサーバに再同期要求を送信する時間が延びます。この機能は、地域の停電時に、大規模な宅内導入に役立つ可能性があります。<br>デフォルト：2 |
| 再同期時刻（Resync At (HHmm)） | デバイスを再同期するための 24 時間形式（hhmm）の時刻。このパラメータがプロビジョニングされた場合は、[定期再同期（Resync Periodic）] パラメータが無視されます。<br>デフォルト：空白 |
| 再同期時刻ランダム遅延（Resync At Random Delay） | 同時に再同期するように設定された複数の電話機からの同時再同期要求によるサーバのフラッディングを回避するために、電話機は指定された時刻の 10 分後までに再同期をトリガーします。<br>入力値（秒単位）が分に変換されます。<br>デフォルト値は 600 秒（10 分）です。パラメータ値が 600 未満に設定された場合は、デフォルト値が使用されます。<br>デフォルト：600 |
| 定期再同期（Resync Periodic） | 定期再同期の間隔（秒単位）。この値が空か 0 の場合は、デバイスが定期的に再同期しません。<br>デフォルト：3600 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 再同期エラー再試行遅延（Resync Error Retry Delay） | IPテレフォニーデバイスがサーバからプロファイルを取得できなかったために再同期操作が失敗した場合、ダウンロードしたファイルが破損していた場合、または内部エラーが発生した場合は、指定された時間（秒単位）後に、デバイスが再度、再同期を試みます。<br>遅延が 0 に設定されている場合、再同期の試行が失敗した後、デバイスは再同期を試みません。<br>デフォルト：3600 |
| 強制再同期遅延（Forced Resync Delay） | 再同期は、通常、音声回線がアイドル状態になっているときに発生します。音声回線がアクティブで、再同期が予定されている場合は、IPテレフォニーデバイスが、回線がアイドル状態になるまで再同期手順を延期します。ただし、強制再同期遅延（秒）まで待機します。再同期によって、設定パラメータ値が変更される場合があります。これにより、ファームウェアのリブートが発生し、再同期時にアクティブだった音声接続が切断されます。<br>デフォルト：14400 |
| SIP からの再同期（Resync From SIP） | サービス プロバイダーのプロキシ サーバから IP テレフォニー デバイスに送信される SIP NOTIFY イベント経由の再同期操作に対する要求を制御します。有効にされた場合は、プロキシが Event: resync ヘッダーを含む SIP NOTIFY メッセージをデバイスに送信することによって、再同期を要求できます。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| 再同期トリガー 1（Resync Trigger 1）<br>再同期トリガー 2（Resync Trigger 2） | 設定可能な再同期トリガー条件。再同期は、これらのパラメータ内の論理式が TRUE に評価されたときにトリガーされます。<br>デフォルト：空白 |
| FNF 時の再同期失敗（Resync Fails On FNF） | 再同期は、要求されたプロファイルがサーバから受信されなかった場合に失敗と見なされます。この動作は、このパラメータによってオーバーライドできます。これが [いいえ（No）] に設定された場合は、デバイスがサーバからの `file-not-found` 応答を正常な再同期として受け入れます。<br>デフォルト：はい（Yes） |

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| プロファイル ルール（Profile Rule）プロファイル ルール B（Profile Rule B）プロファイル ルール C（Profile Rule C）プロファイル ルール D（Profile Rule D） | 順に評価されるリモート設定プロファイル ルール。各再同期操作は、複数のサーバによって管理されている可能性のある複数のファイルを取得できます。<br>デフォルト：/$PSN.xml |
| 使用する再同期オプション（Resync Option To Use） | ファームウェアとプロファイルを取得するために使用されるカンマで区切られた DHCP オプション。 |
| ログ要求メッセージ（Log Request Msg） | 再同期の試みの開始時点で syslog サーバに送信されるメッセージ。<br>Default：<br>`$PN $MAC -Requesting % $SCHEME://$SERVIP:$PORT$PATH` |
| ログ成功メッセージ（Log Success Msg） | 再同期の試みの正常終了時点で発行される syslog メッセージ。<br>Default：<br>`$PN $MAC -Successful % $SCHEME://$SERVIP:$PORT$PATH -- $ERR` |
| ログ失敗メッセージ（Log Failure Msg） | ダウンロードの試行が失敗した後に発行される syslog メッセージ。<br>Default：<br>`$PN $MAC -- %s failed: $ERR` |
| ユーザ設定可能再同期（User Configurable Resync） | ユーザが電話画面から電話機を再同期できるようにします。<br>デフォルト：はい（Yes） |

## ファームウェア アップグレード

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| アップグレード有効（Upgrade Enable） | 再同期アクションに関係なく、ファームウェアの更新操作を許可します。<br>デフォルト：はい（Yes） |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| アップグレード エラー再試行遅延（Upgrade Error Retry Delay） | アップグレード障害時に適用されるインターバル。ファームウェア アップグレードの試行が失敗した後にファームウェア アップグレード エラー タイマーがアクティブになり、この値で初期化されます。このタイマーが 0 までカウント ダウンすると、次のファームウェア アップグレードが試行されます。<br>デフォルト：3600 秒 |
| アップグレード ルール（Upgrade Rule） | アップグレード条件と関連するファームウェア URL を定義するファームウェア アップグレード スクリプト。プロファイル ルールと同じ構文が使用されます。<br>次の形式を使用してアップグレード ルールを入力します。<br>`protocol://server[:port]/profile_pathname`<br>次に例を示します。<br>`tftp://192.168.1.5/image/sip88xx.10-3-1-9-3PCC.loads`<br>プロトコルが指定されなかった場合は、TFTP が想定されます。サーバ名が指定されなかった場合は、URL を要求するホストがサーバ名として使用されます。ポートが指定されなかった場合は、デフォルト ポートが使用されます（TFTP 用の 69、HTTP 用の 80、または HTTPS 用の 443）。<br>デフォルト：空白 |
| エンタープライズ イメージ アップグレードの有効化（Enable Enterprise Image Upgrade） | Cisco IP Phone は、3PCC イメージからエンタープライズ イメージへの単一イメージ アップグレードもサポートします。<br>デフォルト：[いいえ（No）]<br>（注） エンタープライズイメージにアップグレードすると、電話機を 3PCC に戻すことができなくなります。 |

プロビジョニング ページの詳細については、『*Cisco IP Phone 7800 Series and 8800 Series for Third-Party Call Control Provisioning Guide*』を参照してください。

## CA の設定

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| カスタム CA ルール（Custom CA Rule） | カスタム CA をダウンロードするための URL。<br>デフォルト：空白 |

### 汎用パラメータ

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| GPP A ～ GPP P | 汎用パラメータ GPP_* は、特定のプロビジョニング サーバ ソリューションと連携するように Cisco IP Phone を設定するときに、自由文字列のレジスタとして使用されます。これらは、次を含むさまざまな値に設定できます。<br>• 暗号化キー。<br>• URL。<br>• マルチステージ プロビジョニング ステータス情報。<br>• Post 要求テンプレート。<br>• パラメータ名エイリアス マップ。<br>• 最終的に完全なパラメータ値に組み込まれる部分文字列値。<br>デフォルト：空白 |

## 地域

### 制御タイマー値（秒）

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| コールバック期限切れ（Call Back Expires） | コールバック アクティベーションの秒単位の有効期限。範囲：0 ～ 65535 秒 |
| コールバック再試行間隔（Call Back Retry Intvl） | 秒単位のコールバック再試行間隔。範囲：0 ～ 255 秒 |
| コールバック遅延（Call Back Delay） | 最初の SIP 18x 応答を受信してから、リモート エンドが呼び出し中であることを宣言するまでの遅延。話中応答がこの時間内に受信された場合は、電話機がコールでまだ障害が発生していると判断して、再試行を続けます。<br>デフォルト：0.5 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 桁間ロング タイマー（Interdigit Long Timer） | ダイヤル中に番号を入力する間隔の長い方のタイムアウト。桁間タイマー値は、ダイヤル中にデフォルトとして使用されます。ダイヤルプラン内のすべての有効な一致シーケンスのダイヤリングが完了していない場合は、1 つの番号が入力されるたびに Interdigit_Long_Timer が使用されます。範囲：0 ～ 64 秒<br>デフォルト：10 |
| 桁間ショート タイマー（Interdigit Short Timer） | ダイヤル中に番号を入力する間隔の短い方のタイムアウト。少なくとも 1 つの一致シーケンスのダイヤリングが完了しているが、さらにダイヤルされた番号がまだ完了していない他のシーケンスと一致する場合は、1 つの番号が入力されるたびに Interdigit_Short_Timer が使用されます。範囲：0 ～ 64 秒<br>デフォルト：3 |

### 特定業種向けサービス アクティベーション コード

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| コールバック アクティベーション コード（Call Back Act Code） | コールバックのアクティベーション コード<br>デフォルト：*66 |
| コールバック非アクティベーション コード（Call Back Deact Code） | コールバックの非アクティベーション コード<br>デフォルト：*86 |
| ブロック CID アクティベーション コード（Block CID Act Code） | すべてのアウトバウンド コール上の発信者 ID をブロックします。<br>デフォルト：*67 |
| ブロック CID 非アクティベーション コード（Block CID Deact Code） | すべてのアウトバウンド コール上の発信者 ID ブロックを解除します。<br>デフォルト：*68 |
| ブロック ANC アクティベーション コード（Block ANC Act Code） | すべての非通知コールをブロックします。<br>デフォルト：*77 |
| ブロック ANC 非アクティベーション コード（Block ANC Deact Code） | すべての非通知コールのブロックを解除します。<br>デフォルト：*87 |

### 時刻（Time）

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| ローカル日付の設定（mm/dd/yyyy）（Set Local Date (mm/dd/yyyy)） | ローカル日付を設定します（mmは月を、ddは日を表します）。年はオプションで、2 桁または 4 桁の数字が使用されます。<br>デフォルト：空白 |
| ローカル時刻の設定（HH/mm）（Set Local Time (HH/mm)） | ローカル時刻を設定します（hh は時間を、mm は分を表します）。秒はオプションです。<br>デフォルト：空白 |
| タイム ゾーン（Time Zone） | 発信者 ID 生成用のローカル時刻を生成するために GMT に追加する時間数を選択します。選択肢は、GMT-12:00、GMT-11:00、…、GMT、GMT+01:00、GMT+02:00、…、GMT+13:00 です。<br>デフォルト：GMT-08:00 |
| 時間オフセット（HH/mm）（Time Offset (HH/mm)） | これは、ローカル システム時刻に使用される GMT からのオフセットを指定します。<br>デフォルト：00/00 |
| DHCP 時間オフセットを無視（Ignore DHCP Time Offset） | DHCP に時間オフセット値が設定されたルータが使用されている場合は、IP 電話がルータの設定を使用して、IP 電話のタイム ゾーンとオフセットの設定を無視します。ルータの DHCP 時間オフセット値を無視して、ローカル タイム ゾーンとオフセットの設定を使用するには、このオプションに対して [はい（Yes）] を選択します。[いいえ（No）] を選択した場合は、IP 電話がルータの DHCP 時間オフセット値を使用します。<br>デフォルト：[はい（Yes）]。 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 夏時間ルール（Daylight Saving Time Rule） | 夏時間を計算するルールを入力します。開始、終了、および保存の値を含める必要があります。このルールは 3 つのフィールドで構成されます。各フィールドは、次のように ;（セミコロン）で区切られます。指定しなかった場合は、[ ]（角カッコ）内のオプション値が 0 と見なされます。深夜は指定された日付の 0:0:0 で表されます。<br>これは、ルール（Start = <start-time>; end=<end-time>; save = <save-time>）の形式です。<br><start-time> と <end-time> の値は、夏時間の開始日付、終了日付、および時刻を示します。各値の形式は、<month>/<day>/<weekday> [/HH:[mm [:ss]]] です。<br><save-time> 値は、夏時間中に現在の時刻に加算される時間数、分数、および秒数です。加算ではなく、減算が望ましい場合は、<save-time> 値の先頭に負（-）記号を付加することができます。<save-time> 値の形式は [+\|-]/[HH:[mm [:ss]]] です。<br><month> 値は、1 ～ 12（1 月～ 12 月）の範囲内でいずれかの値と一致します。<br><day> 値は、1 ～ 31 の範囲内の [+\|-] 値と一致します。<br><day> が 1 の場合は、月末の、または月末前の <weekday>（つまり、その月の最後の <weekday>）を表します。 |
| 夏時間ルール（Daylight Saving Time Rule）（続き） | <weekday> 値は、1 ～ 7（月曜日～日曜日）の範囲内でいずれかの値と一致します。ただし 0 と一致する場合もあります。<weekday> 値が 0 の場合は、夏時間調整の開始日または終了日が指定された日付と正確に一致することを意味します。この場合は、<day> 値を負にしないでください。<weekday> 値が 0 ではなく、<day> 値が正の場合は、夏時間調整が <weekday> 値または指定された日付後に開始または終了します。<weekday> 値が 0 ではなく、<day> 値が負の場合は、夏時間調整が <weekday> 値または指定された日付前に開始または終了します。ここで、<br>• HH は時間を表します（0 ～ 23）。<br>• mm は分を表します（0 ～ 59）。<br>• ss は秒を表します（0 ～ 59）。<br>デフォルト：3/-1/7/2;end=10/-1/7/2;save=1。 |
| 夏時間有効（Daylight Saving Time Enable） | 夏時間を有効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |

### ローカリゼーション

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| ディクショナリ サーバ スクリプト（Dictionary Server Script） | ディクショナリ サーバの場所、使用可能な言語、および関連ディクショナリを定義します。ディクショナリ サーバスクリプト<br>デフォルト：空白 |
| 言語の選択（Language Selection） | デフォルト言語を指定します。値はディクショナリ サーバでサポートされている言語のいずれかと一致する必要があります。スクリプト（dx 値）は次のとおりです。<br><Language_Selection ua="na"><br></Language_Selection><br>デフォルト：空白<br>最大文字数は 512 です。次に例を示します。<br><Language_Selection ua="na"> Spanish<br></Language_Selection> |
| ロケール（Locale） | HTTP Accept-Language ヘッダーで設定する必要があるロケールを選択します<br>デフォルト：en-US |

## 電話

### QoS の設定

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| SIP TOS 値（SIP TOS Value） | SIP メッセージを伝送する UDP IP パケット内の TOS フィールドの値。<br>デフォルト：0x60 |
| RTP TOS 値（RTP TOS Value） | RTP データを伝送する UDP IP パケット内の ToS/DiffServ フィールドの値。<br>デフォルト：0xb8 |

## 一般

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| ステーション表示名（Station Display Name） | 電話機を識別する名前。電話画面に表示されます。このフィールドにスペースを入力することができます。名前を一意にする必要はありません。 |
| ボイス メール番号（Voice Mail Number） | ボイス メールをチェックする電話番号または URL。<br>デフォルト：なし |
| テキスト ロゴ（Text Logo） | 電話機がブートアップしたときに表示されるテキスト ロゴ。たとえば、サービス プロバイダーは次のようなロゴ テキストを入力できます。<br>• 最大 2 行までのテキスト<br>• 各行は 32 文字未満にする必要がある<br>• 行間に改行文字（\n）を挿入する<br>• エスケープ コード %0a を挿入する<br>次に例を示します。<br>`Super\n%0aTelecom`<br>表示：<br>`Super`<br>`Telecom`<br>書式設定用のスペースを追加するには、+ 記号を使用します。たとえば、テキストを中央に配置するためにその前後に複数の + 記号を追加できます。 |
| ロゴ画像ダウンロード URL（Logo Picture Download URL） | ブートアップ時間中に表示されるファイル（.png）を検索する URL。<br>詳細については、電話機の情報とディスプレイの設定を参照してください。 |
| 壁紙画像ダウンロード URL（Wallpaper Picture Download URL） | 電話画面の背景に表示されるファイル（.png）を検索する URL。<br>詳細については、電話機の情報とディスプレイの設定を参照してください。 |
| ロゴの選択（Select Logo） | [なし（None）]、[PNG 画像（PNG Picture）]、または [テキスト ロゴ（Text Logo）] の中から選択します。<br>デフォルト：なし |

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| スクリーン セーバー有効（Screen Saver Enable） | 電話機のスクリーンセーバーを有効にします。電話機は、指定された期間アイドル状態のときに、スクリーンセーバー モードに入ります。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| スクリーン セーバー待機（Screen Saver Wait） | スクリーン セーバーが表示されるまでのアイドル時間。<br>デフォルト：300 |
| スクリーン セーバー更新期間（Screen Saver Refresh Period） | スクリーンセーバーを更新するまでの秒数（画像の回転を選択した場合など）。 |
| スクリーン セーバー アイコン（Screen Saver Icon） | スクリーン セーバー モードでは、ディスプレイ ユニットに以下を表示できます。<br>• 壁紙画像。<br>• 画面中央のステーション時刻。<br>• 動くシスコアイコン。電話機がロックされている場合は、ステータス行にスクロール メッセージの「電話機をロック解除するには任意のキーを押してください（Press any key to unlock your phone）」が表示されます。<br>• シスコ ロゴ<br>• 画面中央のステーション日時。 |
| ブランド提携バナー画像ダウンロード URL（Co-branding Banner Picture Download URL） | Web GUI にブランド提携用の画像（.gif、.png、または .jpeg）をダウンロードするための URL。 |

## 回線キー

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| 内線番号（Extension） | 回線キー n に割り当てる n の内線番号を指定します。<br>デフォルト：回線キー n |
| ショート名（Short Name） | 回線キーのユーザ名を指定します。<br>デフォルト：$USER |

### 各種回線キーの設定

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| 回線 ID マッピング（Line ID Mapping） | 共有コール アピアランス回線 ID マッピングを指定します。[垂直優先（Vertical First）] が設定されている場合は、1 回目のコールで LED が点滅します。[水平優先（Horizontal First）] が設定されている場合は、2 回目のコールで同じ LED が点滅します。<br>デフォルト：[垂直優先（Vertical First）] |
| SCA 割り込み有効（SCA Barge-In-Enable） | SCA 割り込みを有効にします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| 回線あたりのコール アピアランス数（Call Appearances Per Line） | このパラメータでは、回線ボタンあたりのコール数を選択することができます。2 ～ 10 の値を選択できます。<br>デフォルト：2 |

### 捕足サービス（**Supplementary Services**）

| パラメータ | 説明 |
|---|---|
| 会議サービス（Conference Serv） | 三者会議サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| 在席転送サービス（Attn Transfer Serv） | 在籍コール転送サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| ブラインド転送サービス（Blind Transfer Serv） | ブラインド コール転送サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| DND サービス（DND Serv） | 応答不可サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| ブロック ANC サービス（Block ANC Serv） | ブロック匿名コール サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| コールバック サービス（Call Back Serv） | コールバック サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| ブロック CID サービス（Block CID Serv） | アウトバウンド発信者 ID ブロック サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| 不在転送サービス（Cfwd All Serv） | 不在転送サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| 話中転送サービス（Cfwd Busy Serv） | 話中転送サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| 無応答時転送サービス（Cfwd No Ans Serv） | 無応答時転送サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |

### BroadSoft の設定

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| ディレクトリ有効（Directory Enable） | 電話機ユーザの BroadSoft ディレクトリを有効にする場合に、[はい（Yes）] に設定します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| XSI ホスト サーバ（XSI Host Server） | サーバの名前（xsi.iop1.broadworks.net など）を入力します。<br>デフォルト：空白 |
| ディレクトリ名（Directory Name） | ディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢として電話機上に表示されます。<br>デフォルト：空白 |
| ディレクトリ タイプ（Directory Type） | BroadSoft ディレクトリのタイプを選択します。<br>[企業（Enterprise）]：姓、名、ユーザまたはグループ ID、電話番号、内線番号、部門、またはメールアドレスで検索できるようにします。<br>[グループ（Group）]：姓、名、ユーザ ID、電話番号、内線番号、部門、またはメールアドレスで検索できるようにします。<br>[個人（Personal）]：姓、名、または電話番号で検索できるようにします。<br>デフォルト：[企業（Enterprise）] |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| ディレクトリ ユーザ ID（Directory User ID） | 電話機ユーザの BroadSoft ユーザ ID（johndoe@xdp.broadsoft.com など）。<br>デフォルト：空白 |
| ディレクトリ パスワード（Directory Password） | ユーザ ID に関連付けられた英数字パスワード。<br>デフォルト：空白 |

### LDAP 社内ディレクトリ検索

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| LDAP ディレクトリ有効（LDAP Dir Enable） | LDAP を有効にする場合は [はい（Yes）] を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| LDAP 社内ディレクトリ名（LDAP Corp Dir Name） | "Corporate Directory" などの自由形式の名前を入力します。<br>デフォルト：空白 |
| LDAP サーバ（LDAP Server） | LDAP サーバの完全修飾ドメイン名または IP アドレスを次の形式で入力します。<br>nnn.nnn.nnn.nnn<br>MD5 認証方式が使用されている場合は、LDAP サーバのホスト名を入力します。<br>デフォルト：空白 |
| LDAP 認証方式（LDAP Auth Method） | LDAP サーバに必要な認証方式を選択します。選択肢は次のとおりです。<br>[なし（None）]：クライアントとサーバ間で認証が使用されません。<br>[シンプル（Simple）]：クライアントがその完全修飾ドメイン名とパスワードを LDAP サーバに送信します。セキュリティの問題が発生する可能性があります。<br>[ダイジェスト-MD5（Digest-MD5）]：LDAP サーバが認証オプションとトークンをクライアントに送信します。クライアントは暗号化された応答を返し、サーバがそれを復号化して検証します。<br>デフォルト：なし |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| LDAP クライアント DN（LDAP Client DN） | 次のような識別名ドメイン コンポーネント [dc] を入力します。<br>dc=cv2bu,dc=com<br>デフォルトの Active Directory スキーマ（Name(cn)->Users->Domain）を使用している場合は、クライアント DN が次のようになります。<br>cn=”David Lee”,dc=users,dc=cv2bu,dc=com<br>デフォルト：空白 |
| LDAP ユーザ名（LDAP Username） | LDAP サーバ上の資格認定ユーザのユーザ名を入力します。<br>デフォルト：空白 |
| [LDAPパスワード（LDAP Password）] | LDAP ユーザ名のパスワードを入力します。<br>デフォルト：空白 |
| [LDAP 検索ベース（LDAP Search Base）] | 検索するディレクトリ ツリー内の開始ポイントを指定します。ドメイン コンポーネント [dc] をカンマで区切ります。次に例を示します。<br>dc=cv2bu,dc=com<br>デフォルト：空白 |
| LDAP 姓フィルタ（LDAP Last Name Filter） | これは、一部の国と地域で姓と呼ばれている苗字 [sn] の検索を定義します。たとえば、sn:(sn=*$VALUE*) のように定義します。この場合は、指定されたテキストが名前のどこか（先頭、中間、または最後）にあれば検索されます。<br>デフォルト：空白 |
| LDAP 名フィルタ（LDAP First Name Filter） | これは、一般名 [cn] の検索を定義します。たとえば、cn:(cn=*$VALUE*) のように定義します。この場合は、指定されたテキストが名前のどこか（先頭、中間、または最後）にあれば検索されます。<br>デフォルト：空白 |
| LDAP 検索項目 3（LDAP Search Item 3） | 追加のカスタマイズされた検索項目。必要がなければ空白にすることもできます。<br>デフォルト：空白 |
| LDAP 項目 3 フィルタ（LDAP Item 3 Filter） | 検索対象項目のカスタマイズされたフィルタ。必要がなければ空白にすることもできます。<br>デフォルト：空白 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| LDAP 検索項目 4（LDAP Search Item 4） | 追加のカスタマイズされた検索項目。必要がなければ空白にすることもできます。<br>デフォルト：空白 |
| LDAP 項目 4 フィルタ（LDAP Item 4 Filter） | 検索対象項目のカスタマイズされたフィルタ。必要がなければ空白にすることもできます。<br>デフォルト：空白 |
| LDAP 表示属性（LDAP Display Attrs） | 次のような電話機に表示される LDAP 結果の形式。<br>• a：属性名<br>• cn：一般名<br>• sn：苗字（姓）<br>• telephoneNumber：電話番号<br>• n：表示名<br>たとえば、n=Phone とすると、詳細ソフト ボタンを押したときに、LDAP クエリ結果の電話番号の先頭に "Phone:" と表示されます。<br>• t：タイプ<br>t=p、つまり、t がタイプ電話番号の場合は、検索された番号をダイヤルすることができます。ダイヤルできるのは 1 つの番号だけです。2 つの番号をダイヤル可能として定義した場合は、最初の番号だけが使用されます。たとえば、a=ipPhone, t=p; a=mobile, t=p; のように定義したとします。<br>この例では、IP 電話番号だけがダイヤル可能で、携帯電話番号は無視されます。<br>• p：電話番号<br>t=p のように p がタイプ属性に割り当てられる場合は、検索された番号を電話機からダイヤルすることができます。<br>たとえば、a=givenName,n=firstname;a=sn,n=lastname;a=cn,n=cn;a=telephoneNumber,n=tele,t=p のように定義します。<br>デフォルト：空白 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| LDAP 番号マッピング（LDAP Number Mapping） | 必要がなければ空白にすることもできます。<br>（注） LDAP 番号マッピングを使用すれば、LDAP サーバから検索された番号を操作することができます。たとえば、ダイヤル プランでダイヤルする前に 9 を入力するように要求されている場合は、9 を番号に付加することができます。プレフィックス 9 を付加するには、(<:9xx.>) を [LDAP 番号マッピング（LDAP Number Mapping）] フィールドに追加します。たとえば、555 1212 は 9555 1212 になります。<br>この方法で番号を操作しない場合は、ダイヤル編集機能を使用して、ダイヤルアウトする前に番号を編集できます。<br>デフォルト：空白 |

## XML サービス

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| XML ディレクトリ サービス名：（XML Directory Service Name:） | XMLディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢としてユーザの電話機上に表示されます。<br>デフォルト：空白 |
| XML ディレクトリ サービス URL（XML Directory Service URL） | XML ディレクトリが配置された URL。<br>デフォルト：空白 |
| XML ユーザ名（XML User Name） | 認証用の XML サービス ユーザ名。<br>デフォルト：空白 |
| XML パスワード（XML Password） | 認証用の XML サービス パスワード。<br>デフォルト：空白 |

## プログラム可能なソフトキー

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 共有アクティブ キー リスト（Shared Active Key List） | コールが共有回線上でアクティブになったときに表示されるソフトキー。 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 共有保留キー リスト（Shared Held Key List） | コールが共有回線上で保留にされたときに表示されるソフトキー。 |

## ユーザ

### 保留リマインダ タイマー

このパラメータは、別のコールが保留にされたときにアクティブ コールでリング スプラッシュが聞こえる時間遅延（秒単位）を指定します。

デフォルト：0

### スピード ダイヤル

LCD GUI または Web GUI から Cisco IP Phone 上のスピード ダイヤルを設定できます。

スピード ダイヤル 2 ～ 9：スピード ダイヤル 2、3、4、5、6、7、8、または 9 に割り当てられたターゲット電話番号（または URL）。数字キー（2 ～ 9）を押して、割り当てられた番号をダイヤル アウトします。

デフォルト：空白

### 捕足サービス（Supplementary Services）

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| CW 設定（CW Setting） | コール ウェイティング サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| ブロック CID 設定（Block CID Setting） | ブロック CID サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| ブロック ANC 設定（Block ANC Setting） | ブロック ANC サービスを有効または無効にします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| コール転送グローバル モード（Cfwd Global Mode） | 電話機のコール転送モードを選択します（[すべての回線（All Lines）] または [個別の回線（Per Line）]）。<br>1 つの回線で [不在転送宛先（Cfwd All Dest）] が変更されたときに、すべての回線に適用する場合は、[すべての回線（All Lines）] に設定します。[不在転送宛先（Cfwd All Dest）] が変更されたときに、指定された回線にのみ適用する場合は、[個別の回線（Per line）] に設定します。<br>デフォルト：[すべての回線（All Lines）] |
| DND グローバル モード（DND Global Mode） | 電話機の DND モードを選択します（[すべての回線（All Lines）] または [個別の回線（Per Line）]）。<br>デフォルト：[すべての回線（All Lines）] |
| セキュア コール設定（Secure Call Setting） | セキュア コールを有効または無効にします。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| 自動応答ページ（Auto Answer Page） | ページ化コールの自動応答を有効または無効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| 時間フォーマット（Time Format） | 電話機の時間形式を選択します（12 時間または 24 時間）。<br>デフォルト：12hr |
| 日付書式（Date Format） | 電話機の日付形式を選択します（[月/日（month/day）] または [日/月（day/month）]）。<br>デフォルト：[月/日（month/day）] |
| 共有回線 DND コール転送有効（Shared Line DND Cfwd Enable） | 共有回線 DND コール転送を有効または無効にします。 |

### 音声（Audio）

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 呼出音音量（Ringer Volume） | 呼出音のデフォルトの音量を設定します。<br>デフォルト：9 |
| スピーカーの音量（Speaker Volume） | スピーカーフォンのデフォルトの音量を設定します。<br>デフォルト：8 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| ハンドセットの音量（Handset Volume） | ハンドセットのデフォルトの音量を設定します。<br>デフォルト：10 |
| ヘッドセットの音量（Headset Volume） | ヘッドセットのデフォルトの音量を設定します。<br>デフォルト：10 |

### LCD

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| バック ライト タイマー（分）（Back Light Timer (minutes)） | バック ライトを消灯するまでの分数（1 分、5 分、または 30 分）または [常にオン（Always On）] を選択します。<br>デフォルト：5 分 |
| 明るさ（Brightness） | 1 ～ 15 の数値を入力します。数値が大きいほど、IP 電話画面の明るさが増します。<br>デフォルト：10 |

## 内線番号

設定プロファイルで、設定を適用する回線を指定するための適切な数字を回線パラメータに付加する必要があります。次に例を示します。

```
[1] to specify line one
[2] to specify line two
```

### 一般

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 回線有効（Line Enable） | サービスに対してこの回線を有効にする場合は、[はい（Yes）] を選択します。そうでない場合は、[いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト：はい（Yes） |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| サーバ タイプ（Server Type） | サーバ タイプを選択します。<br>• Broadsoft<br>• Metaswitch<br>• Asterisk<br>• その他（Other） |

### 回線アピアランスの共有

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 内線番号の共有（Share Ext） | この内線番号を他の Cisco IP Phone と共有するのか、プライベートにするのかを指定します。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| 共有ユーザ ID（Shared User ID） | 共有回線アピアランスに割り当てられたユーザ識別子。<br>デフォルト：空白 |
| サブスクリプション期限切れ（Subscription Expires） | SIP サブスクリプションが期限切れになるまでの秒数。サブスクリプションが期限切れになる前に、電話機は SIP サーバから共有電話内線のステータスに関する NOTIFY メッセージを受信します。<br>デフォルト：3600 |
| MWI の制限（Restrict MWI） | 有効にすると、メッセージ待機インジケータが専用回線上のメッセージに対してのみ点灯します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |

### コール転送

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 不在転送宛先（Cfwd All Dest） | コールを転送する内線番号を入力します。 |
| 話中転送宛先（Cfwd Busy Dest） | 回線が使用中のときにコールを転送する内線番号を入力します。<br>デフォルト：[ボイスメール（voicemail）] |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 無応答時転送宛先（Cfwd No Ans Dest） | コールが応答されないときにコールを転送する内線番号を入力します。<br>デフォルト：[ボイスメール（voicemail）] |
| 無応答時転送遅延（Cfwd No Ans Delay） | 無応答のコールを転送する前に待機する遅延時間（秒単位）を入力します。<br>デフォルトは 20 秒です。 |

### NAT の設定

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| NAT マッピング有効（NAT Mapping Enable） | SIP メッセージで外部にマップされた IP アドレスと SIP/RTP ポートを使用する場合は、[はい（Yes）] を選択します。そうでない場合は、[いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| NAT キープアライブ有効（NAT Keep Alive Enable） | 設定された NAT キープアライブ メッセージを定期的に送信する場合は、[はい（Yes）] を選択します。そうでない場合は、[いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| NAT キープアライブ メッセージ（NAT Keep Alive Msg） | 現在の NAT マッピングを維持するために定期的に送信する必要があるキープアライブ メッセージを入力します。この値が $NOTIFY の場合は、NOTIFY メッセージが送信されます。この値が $REGISTER の場合は、連絡先を含まない REGISTER メッセージが送信されます。<br>デフォルト：$NOTIFY |

### SIP の設定

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| SIP トランスポート（SIP Transport） | **UDP**、**TCP**、または **TLS** から選択します。<br>デフォルト：UDP |
| SIP UDP ポート（SIP UDP Port） | SIP メッセージのリスニングおよび送信ポートのポート番号。<br>デフォルト：5060 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| SIP 100REL 有効（SIP 100REL Enable） | 暫定応答（18x）の信頼できる送信に対する 100REL SIP 拡張のサポートと PRACK 要求の使用。有効にする場合は、[はい（Yes）] を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| 外部 SIP ポート（EXT SIP Port） | 外部 SIP ポート番号。 |
| 再同期-リブートの認証（Auth Resync-Reboot） | Cisco IP Phone は、次の要求を含む NOTIFY メッセージを受信したときに送信者を認証します。<br>• 再同期（resync）<br>• リブート（reboot）<br>• レポート（report）<br>• 再起動（restart）<br>• XML サービス（XML-service）<br>有効にする場合は、[はい（Yes）] を選択します。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| SIP Remote-Party-ID | From ヘッダーの代わりに使用される Remote-Party-ID ヘッダー。有効にする場合は、[はい（Yes）] を選択します。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| SIP P-Asserted-Identity | 最初のプロキシと同じ信頼できるドメイン内のユーザエージェントクライアント（UAC）によって挿入される SIP ヘッダー内の P-Asserted-Identity ヘッダー フィールドの使用を有効にします。 |
| Refer-To ターゲット連絡先（Refer-To Target Contact） | refer-to ターゲットを示します。**SIP Refer** を連絡先に送信する場合は、[はい（Yes）] を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| SIP デバッグ オプション（SIP Debug Option） | SIP メッセージがどのように受信されるか、または、プロキシ リッスン ポートからログにどのように送信されるか。次を選択します。<br>• [デフォルト（Default）] : メッセージなし。<br>• [現在（Current）] : 現在のすべての SIP メッセージの全文を記録します。<br>• [フル（Full）] : すべての SIP メッセージの全文を記録します。 |
| スティッキー 183（Sticky 183） | 有効になっている場合は、IP テレフォニーがアウトバウンド INVITE に対する最初の 183 SIP 応答の受信後に後続の 180 SIP 応答を無視します。この機能を有効にする場合は、[はい（Yes）] を選択します。そうでない場合は、[いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト : [いいえ（No）] |
| INVITE の認証（Auth INVITE） | 有効になっている場合は、SIP プロキシからの最初の着信 INVITE 要求に対する認証が要求されます。この機能を有効にする場合は、[はい（Yes）] を選択します。<br>デフォルト : [いいえ（No）] |
| ユーザ イコール電話機（User Equal Phone） | 電話機の URL が SIP URL に変換され、電話番号が URL のユーザ部分によって表現される場合は、SIP URL にオプションの user=phone パラメータ（RFC3261）が含まれます。次に例を示します。<br>To: sip:+12325551234@example.com; user=phone<br>このオプション パラメータを有効にする場合は、[はい（Yes）] を選択します。<br>デフォルト : [いいえ（No）] |

## コール機能の設定

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| メッセージ受信（Message Waiting） | 電話機のメッセージ待機インジケータが点灯しているかどうかを示します。このパラメータは、SIP プロキシからのメッセージを切り替えて、メッセージが待機中かどうかを示します。 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| デフォルト呼出音（Default Ring） | 聞こえてくる呼出音のタイプ。[呼出音なし（No Ring）] または 1 ～ 10 を選択します。 |
| 会議ブリッジ URL（Conference Bridge URL） | 会議コールに参加するための URL。通常は、単語の conference または user@IPaddress:port の形式。 |
| ボイス メール サーバ（Voice Mail Server） | 電話機の SpecVM サーバを識別します。通常は、VM サーバの IP アドレスとポート番号です。 |
| ボイス メール サブスクライブ インターバル（Voice Mail Subscribe Interval） | ボイス メール サーバへのサブスクリプションの秒単位の有効期限。 |
| アクティブ コール時の自動応答ページ（Auto Ans Page On Active Call） | ページ コールが到着したときの電話機の動作を決定します。 |
| 機能キー同期（Feature Key Sync） | 機能キーの同期を有効または無効にします。 |

### 捕足サービス（Supplementary Services）

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| DND 設定回線（DND Setting Line） | 応答不可を有効または無効にします。 |

### プロキシと登録

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| プロキシ（Proxy） | すべてのアウトバウンド要求のためにサービス プロバイダーによって設定された SIP プロキシ サーバとポート番号。例：192.168.2.100:6060。<br>ポート番号は任意です。<br>デフォルト：5060 |
| アウトバウンド プロキシ（Outbound Proxy） | すべてのアウトバウンド要求が最初のホップとして送信されます。IP アドレスまたはドメイン名を入力します。 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 代替プロキシ（Alternate Proxy）<br>代替アウトバウンド プロキシ（Alternate Outbound Proxy） | この機能は、ネットワーク パーティションがインターネット上に設置されている場合やプライマリ プロキシ（またはプライマリ アウトバウンドプロキシ）が応答不可または応対不可の場合に迅速なフォールバックを提供します。この機能は、代替プロキシがアナログ アウトバウンド電話接続を備えたサービス統合型ルータ（ISR）であるため、Verizon 導入環境でうまく機能します。<br>これらのフィールドにプロキシ サーバのアドレスとポート番号を入力します。電話機がプライマリ プロキシと代替プロキシ（またはプライマリ アウトバウンドプロキシと代替アウトバウンドプロキシ）に登録されたら、電話機は常にプライマリ プロキシ経由で INVITE SIP メッセージと非 INVITE SIP メッセージ（登録以外）を送信します。電話機は、必ずプライマリ プロキシと代替プロキシの両方に登録します。新しい INVITE のタイムアウト（SIP RFC 仕様に基づく）後にプライマリ プロキシから応答がなかった場合は、電話機が代替プロキシに接続しようとします。電話機は、必ず最初にプライマリ プロキシを試してから、プライマリが到達不能な場合にすぐに代替プロキシを試します。<br>アクティブ トランザクション（コール）は、プライマリ プロキシと代替プロキシの間でフォールバックしません。新しい INVITE でフォールバックが発生した場合は、それに応じてサブスクライブ/通知トランザクションがフォールバックするため、電話機の状態を適切に維持できます。また、[プロキシと登録（Proxy and Registration）] セクションの [デュアル登録（Dual Registration）] を [はい（Yes）] に設定する必要もあります。 |
| 登録（Register） | プロキシへの定期登録を可能にします。プロキシが指定されていない場合、このパラメータは無視されます。この機能を有効にする場合は、[はい（Yes）] を選択します。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| 登録なしの発信（Make Call Without Reg） | 電話機による登録が成功（動的）しなくてもアウトバウンド コールを発信できるようにします。[いいえ（No）] に設定した場合は、登録が成功した場合にのみダイヤル トーンが鳴ります。この機能を有効にする場合は、[はい（Yes）] を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 登録期限切れ（Register Expires） | 電話機がプロキシへの登録を更新する頻度を定義します。プロキシが短い期限切れ値でREGISTERに応答した場合は、電話機が、設定された値ではなく、その短い値に基づいて登録を更新します。<br>登録が "Expires too brief" エラー応答で失敗した場合は、電話機がエラーの Min-Expires ヘッダーで指定された値で再試行します。<br>指定できる範囲は 32 ～ 2000000 です。<br>デフォルト：3600 秒 |
| DNS SRV の使用（Use DNS SRV） | プロキシとアウトバウンド プロキシの DNS SRV ルックアップを有効にします。この機能を有効にする場合は、[はい（Yes）] を選択します。そうでない場合は、[いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |
| プロキシ フォールバック インターバル（Proxy Fallback Intvl） | 最高優先順位のプロキシ（またはアウトバウンドプロキシ）がそれよりも低い優先順位のサーバにフェールオーバーしてから、電話機が再試行するまでの時間を設定します。<br>電話機には、サーバ名に対する DNS SRV レコード ルックアップからのプライマリおよびバックアップ プロキシ サーバのリストが必要です。また、電話機は、プロキシの優先順位を認識している必要があります。そうでない場合は、再試行しません。<br>指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。<br>デフォルト：3600 秒 |
| デュアル登録（Dual Registration） | デュアル登録/高速フォールバック機能を有効にする場合は、[はい（Yes）] に設定します。この機能を有効にするには、[プロキシと登録（Proxy and Registration）] セクションの代替プロキシ/代替アウトバウンドプロキシのフィールドを設定する必要もあります。 |

## サブスクライバ情報

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 表示名（Display Name） | 発信者 ID として表示される名前。 |
| ユーザ ID（User ID） | この回線の内線番号。 |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| パスワード（Password） | この回線のパスワード。<br>デフォルト：空白（必要なパスワードなし） |
| 認証 ID（Auth ID） | SIP 認証用の認証 ID。<br>デフォルト：空白 |
| 逆認証レルム（Reversed Auth Realm） | プロキシIPアドレス以外の認証レルム用のIPアドレス。デフォルト値は空白です。プロキシIPアドレスが認証レルムとして使用されます。<br>内線番号 1 のパラメータは、次のように電話機設定ファイルに表示されます。<br><Reversed_Auth_Realm_1_ ua="na"><br></Reversed_Auth_Realm_1_> |

## 音声の設定

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 優先コーデック（Preferred Codec） | すべてのコールに対する優先コーデック（コールで実際に使用されるコーデックは、コーデックのネゴシエーションプロトコルの結果によっても異なります）。次のいずれかを選択します。<br>• G711u<br>• G711a<br>• G729a<br>• G729ab<br>• G722<br>• iLBC<br>• L16<br>• iSAC<br>デフォルト：G711u |
| 優先コーデックのみを使用（Use Pref Codec Only） | すべてのコールに対して優先コーデックのみを使用する場合は、[はい（Yes）] を選択します（遠端がこれらのコーデックをサポートしていない場合は、コールが失敗します）。そうでない場合は、[いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| 第 2 優先コーデック（Second Preferred Codec） | 最初のコーデックが失敗した場合に、このコーデックが試されます。<br>デフォルト：Unspecified |
| 第 3 優先コーデック（Third Preferred Codec） | 2 番目のコーデックが失敗した場合に、このコーデックが試されます。<br>デフォルト：Unspecified |
| G711u 有効（G711u Enable） | G.711u コーデックの使用を有効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| G711a 有効（G711a Enable） | G.711a コーデックの使用を有効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| G729a 有効（G729a Enable） | 8 kbps での G.729a コーデックの使用を有効にするには、[はい（Yes）] を選択します。そうでない場合は、[いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| G729ab 有効（G729ab Enable） | G.729ab コーデックの使用を有効にするには、[はい（Yes）] を選択します。そうでない場合は、[いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| G722 有効（G722 Enable） | G.722 コーデックの使用を有効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| iLBC 有効（iLBC Enable） | iLBC コーデックの使用を有効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| L16 有効（L16 Enable） | L16 コーデックの使用を有効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| iSAC 有効（iSAC Enable） | iSAC コーデックの使用を有効にします。<br>デフォルト：はい（Yes） |
| 無音抑制有効（Silence Supp Enable） | 無音抑制を有効にして無音音声フレームが転送されないようにするには、[はい（Yes）] を選択します。そうでない場合は、[いいえ（No）] を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| DTMF 送信方式（DTMF Tx Method） | DTMF信号を遠端に送信する方式。次のオプションがあります。<br>• [AVT]：音声ビデオ トランスポート。DTMF を AVT イベントとして送信します。<br>• [インバンド（InBand）]：音声パスを使用して DTMF を送信します。<br>• [自動（Auto）]：コーデック ネゴシエーションの結果に基づいてインバンドまたは AVT を使用します。<br>• [INFO]：SIP INFO 方式を使用します。 |
| リモート優先コーデックを使用（Use Remote Pref Codec） | リモート優先コーデックを使用する場合は、[はい（Yes）]を選択します。そうでない場合は、[いいえ（No）]を選択します。<br>デフォルト：[いいえ（No）] |

### ダイヤル プラン

ダイヤル プランの詳細については、ダイヤル プランの概要を参照してください。

## アテンダント コンソール

### コール パーキング

| パラメータ | 説明 |
| --- | --- |
| コール パーク （Call Park） | [コール パーク （Call Park）] コード フィールドには、コールをパークするために使用されるスター コードが含まれます。<br>デフォルトは *68 です。 |
| コール パーク解除（Call Unpark） | [パーク解除（Unpark）] コード フィールドには、パークされたコールを取得するために使用されるスター コードが含まれます。<br>デフォルトは *88 です。 |
| コール ピックアップ（Call Pickup） | 呼び出し中のコールをピックアップするために使用されるスター コード。<br>デフォルトは *98 です。 |

# コール履歴（Call History）

電話機のコール履歴が表示されます。表示される情報を変更するには、ドロップダウン リストからコール履歴のタイプを選択します。

- すべてのコール（All Calls）
- 着信履歴（Received Calls）
- 発信履歴（Placed Calls）
- 不在履歴（Missed Calls）